さくら市自然環境調査
(平成 23 年度両生類・爬虫類・昆虫類調査)
報　告　書

平成 24 年 3 月

平成理研株式会社

目　次

Ⅰ．調査概要 1

１－１　調査件名 1
１－２　調査目的 1
１－３　調査対象地 1
１－４　調査実施日 1

Ⅱ．調査方法 2

２－１　調査地点選定 2
２－２　調査方法 3
２－２－１　両生類調査 3
２－２－２　爬虫類調査 3
２－２－３　昆虫類調査 3

Ⅲ．調査結果 4

３－１　両生類調査結果 4
３－１－１　両生類相 4
３－１－２　注目すべき両生類 4
３－２　爬虫類調査結果 8
３－２－１　爬虫類相 8
３－２－２　注目すべき爬虫類 8
３－３　昆虫類調査結果 12
３－３－１　昆虫類相 12
３－３－２　注目すべき昆虫類 13
３－４　各調査地点の概要 25

添付資料１：　調査写真
添付資料２：　両生類注目種確認位置図
添付資料３：　爬虫類注目種確認位置図
添付資料４：　昆虫類出現種リスト

Ⅰ．調査概要

１－１　調査件名

さくら市自然環境調査（平成 23 年度調査）

１－２　調査目的

さくら市環境基本計画に基づき、市内の自然環境の状況を把握し、地域の生物多様性の保全のための基礎資料として、両生類・爬虫類・昆虫類の現地調査を行う。

１－３　調査対象地

栃木県さくら市行政区域内

１－４　調査実施日

両生類・爬虫類調査

春季　　：平成 23 年 5 月 9 日、平成 23 年 5 月 20 日
夏季　　：平成 23 年 6 月 13 日、平成 23 年 6 月 14 日

昆虫類調査

春季　　：平成 23 年 6 月 3 日、平成 23 年 6 月 4 日
夏季　　：平成 23 年 8 月 4 日、平成 23 年 8 月 10 日
秋季　　：平成 23 年 9 月 29 日、平成 23 年 9 月 30 日

Ⅱ．調査方法

２－１　調査地点選定

調査地点は、既往の環境基本計画基礎調査で調査を実施した地点以外の場所の中で、さくら市を代表する自然環境である丘陵地、河川、水田地帯から図２－１に示すとおり計６地点を選定した。

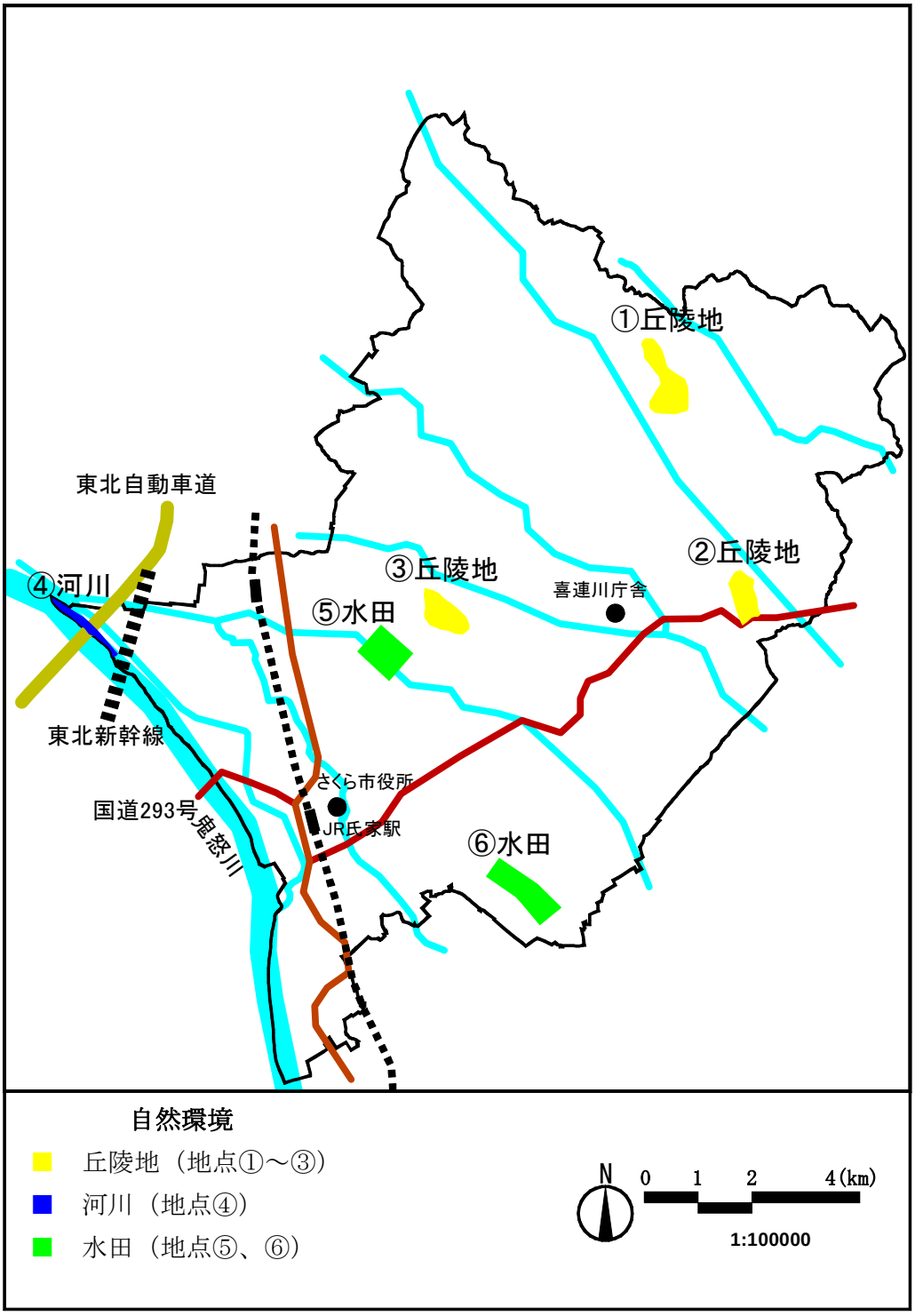

図２－１　調査地点位置

２－２　調査方法

２－２－１　両生類調査

各調査地点における両生類の生息状況を把握するため、踏査を実施し、捕獲（放逐を含む)、視認、鳴き声による種の同定を行った。

２－２－２　爬虫類調査

各調査地点における爬虫類の生息状況を把握するため、踏査を実施し捕獲（放逐を含む)、視認による種の同定を行った。

２－２－３　昆虫類調査

各調査地点における昆虫類の生息状況を把握するため、一般採取（ルッキング法，ネッティング法，ビーティング法，スィーピング法等）により調査を実施した。

Ⅲ．調査結果

３－１　両生類調査結果

３－１－１　両生類相

それぞれの調査地点において確認された両生類の種の一覧を表３－１に示す。

本調査で確認された両生類は、春季・夏季合わせて４科５種であった。

表３－１　両生類確認種一覧

科名	種名	春季	夏季	確認地点	備考
ﾋｷｶﾞｴﾙ	ｱｽﾞﾏﾋｷｶﾞｴﾙ	○		①	幼生
ｱﾏｶﾞｴﾙ	ﾆﾎﾝｱﾏｶﾞｴﾙ	○	○	①②③④⑤⑥	鳴き声、成体、幼生、幼体
ｱｶｶﾞｴﾙ	ﾆﾎﾝｱｶｶﾞｴﾙ	○	○	①②③④⑤⑥	卵塊、成体、幼生、幼体
	ﾄｳｷｮｳﾀﾞﾙﾏｶﾞｴﾙ	○	○	①②③④⑤⑥	鳴き声、成体、幼生
ｱｵｶﾞｴﾙ	ｼｭﾚｰｹﾞﾙｱｵｶﾞｴﾙ	○	○	①②③	卵塊、鳴き声、成体
４科	５種	５種	４種	－	－

３－１－２　注目すべき両生類

本調査において確認された注目すべき種は、表３－２に示すとおりであり、アズマヒキガエル、ニホンアカガエル、トウキョウダルマガエル、シュレーゲルアオガエルの４種があげられた。

表３－３～表３－６にはこれらの種の生態、確認状況等を示し、注目すべき両生類の位置は添付資料２に示す。

表３－２　注目すべき両生類

科名	種名	栃木県 RL＊1	環境省 RL＊2
ﾋｷｶﾞｴﾙ	ｱｽﾞﾏﾋｷｶﾞｴﾙ	要注目	－
ｱｶｶﾞｴﾙ	ﾆﾎﾝｱｶｶﾞｴﾙ	C	－
	ﾄｳｷｮｳﾀﾞﾙﾏｶﾞｴﾙ	C	準絶滅危惧
ｱｵｶﾞｴﾙ	ｼｭﾚｰｹﾞﾙｱｵｶﾞｴﾙ	C	－
３科	４種	４種	１種

＊1　栃木県「栃木県版レッドリスト（２０１１改定版）栃木県の保護上注目すべき野生動植物・地形・地質」2011

絶滅：県内ではすでに絶滅したと考えられる生物

絶滅危惧Ⅰ類：(A ランク）絶滅の危機に瀕している生物

絶滅危惧Ⅱ類：(B ランク）絶滅の危険が増大している生物

準絶滅危惧：(C ランク）存続基盤が脆弱な生物

情報不足：評価するだけの情報が不足している生物

絶滅のおそれのある地域個体群：地域的に孤立しており、地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群

要注目：注目すべき生物

＊2　環境省「レッドリスト　爬虫類・両生類（環境省報道発表)」2006

絶滅：我が国ではすでに絶滅したと考えられる種

野生絶滅：飼育・栽培下でのみ存続している種

絶滅危惧Ⅰ類：絶滅の危機に瀕している種

絶滅危惧ⅠＡ類：ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種

絶滅危惧ⅠＢ類：ⅠＡ類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種

絶滅危惧Ⅱ類：絶滅の危険が増大している種

準絶滅危惧：現時点では絶滅危険度は小さいが、生息状況の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種

情報不足：評価するだけの情報が不足している種

絶滅のおそれのある地域個体群：地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

表３－３　注目すべき両生類（アズマヒキガエル）

和　　名	アズマヒキガエル（ヒキガエル科）
選定根拠	・　要注目：「栃木県レッドリスト*1」
生態	本種は、林、湿原、川・沢、水田、住宅地など幅広く生息していて、ため池や湿地などの産卵地と、非繁殖期の生息地である林などが隣接している必要がある。栃木県内では広範に分布していて、垂直分布は標高16m の渡良瀬遊水地から 2,040m の鬼怒沼山でと広い。近年では、平野部・丘陵部で個体数が激減している。
確認状況	本調査では、春季に地点①の水田脇の土水路おいて幼生が確認されている。
生態写真	 アズマヒキガエル幼生（現地調査日：平成 23 年 5 月 20 日）

表３－４　注目すべき両生類（ニホンアカガエル）

和　　名	ニホンアカガエル（アカガエル科）
選定根拠	・ C：「栃木県レッドリスト*1」
生態	本種は水田、湿地、池などの浅い止水域に産卵し、非繁殖期は周辺の林の林床や草むらで生活する。このため、産卵地と非繁殖期の生活場所が隣接している必要がある。栃木県内では標高 16mの平野部から標高 870mの山地まで生息が確認されているが、主な分布域は標高 300m以下の平野部と丘陵部である。
確認状況	本調査では、すべての地点で確認されている。
生態写真	 ニホンアカガエル成体（現地調査日：平成 23 年 5 月 20 日）

表３－５　注目すべき両生類（トウキョウダルマガエル）

和　　名	トウキョウダルマガエル（アカガエル科）
選定根拠	・ C：「栃木県レッドリスト*1」 ・ 準絶滅危惧：「環境省レッドリスト*2」
生態	本種の生息地の大部分は水田とその周辺であるが、河川や沼、湿地、草地などでも成体が確認されている。関東平野、仙台平野、新潟県、長野県に分布しており、本県では、山間部の足尾町、藤原町、栗山村では生息が確認されていないが、標高 15mの平野部から 55mの丘陵部にかけて、広く分布している。
確認状況	本調査では、すべての地点で確認されている。
生態写真	 トウキョウダルマガエル成体（現地調査日：平成 23 年 6 月 14 日）

表３－６　注目すべき両生類（シュレーゲルアオガエル）

和　　名	シュレーゲルアオガエル（アオガエル科）
選定根拠	・ C：「栃木県レッドリスト*1」
生態	本種は、水田、池、沼、湿原などで産卵し、非繁殖期は周辺の樹林地に生息している。産卵の条件として、水際の土質が軟らかい必要がある。本県における生息場所の垂直分布は広範にわたるが、標高 50～200m の樹林地に隣接した水田での確認例が多い。
確認状況	本調査では、丘陵地である①、②、③の地点で確認されている。
生態写真	 シュレーゲルアオガエル成体（現地調査日：平成 23 年 5 月 20 日）

３－２　爬虫類調査結果

３－２－１　爬虫類相

それぞれの調査地点において確認された爬虫類の種の一覧を表３－７に示す。

本調査で確認された爬虫類は、春季・夏季合わせて２科４種であった。

表３－７　爬虫類確認種一覧

科名	種名	春季	夏季	確認地点	備考
ｶﾅﾍﾋﾞ	ﾆﾎﾝｶﾅﾍﾋﾞ	○	○	②③	成体
ﾅﾐﾍﾋﾞ	ｼﾏﾍﾋﾞ	○	○	①③④⑤⑥	成体
	ｱｵﾀﾞｲｼｮｳ	○		①	成体
	ﾔﾏｶｶﾞｼ	○	○	①②③④	成体
２科	４種	４種	３種	－	－

３－２－２　注目すべき爬虫類

本調査において確認された注目すべき種は、表３－８に示すとおりであり、ニホンカナヘビ、シマヘビ、アオダイショウ、ヤマカガシの４種があげられた。

表３－９～表３－１２にはこれらの種の生態、確認状況等を示し、注目すべき爬虫類の位置は添付資料３に示す。

表３－８　注目すべき両生類

科名	種名	栃木県 RL＊1	環境省 RL＊2
ｶﾅﾍﾋﾞ	ﾆﾎﾝｶﾅﾍﾋﾞ	要注目	－
ﾅﾐﾍﾋﾞ	ｼﾏﾍﾋﾞ	要注目	－
	ｱｵﾀﾞｲｼｮｳ	要注目	－
	ﾔﾏｶｶﾞｼ	C	－
２科	４種	４種	０種

＊1　栃木県「栃木県版レッドリスト（２０１１改定版）栃木県の保護上注目すべき野生動植物・地形・地質」2011

絶滅：県内ではすでに絶滅したと考えられる生物

絶滅危惧Ⅰ類：(A ランク）絶滅の危機に瀕している生物

絶滅危惧Ⅱ類：(B ランク）絶滅の危険が増大している生物

準絶滅危惧：(C ランク）存続基盤が脆弱な生物

情報不足：評価するだけの情報が不足している生物

絶滅のおそれのある地域個体群：地域的に孤立しており、地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群

要注目：注目すべき生物

＊2　環境省「レッドリスト　爬虫類・両生類（環境省報道発表)」2006

絶滅：我が国ではすでに絶滅したと考えられる種

野生絶滅：飼育・栽培下でのみ存続している種

絶滅危惧Ⅰ類：絶滅の危機に瀕している種

絶滅危惧ⅠA類：ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種

絶滅危惧ⅠB類：ⅠA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種

絶滅危惧Ⅱ類：絶滅の危険が増大している種

準絶滅危惧：現時点では絶滅危険度は小さいが、生息状況の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種

情報不足：評価するだけの情報が不足している種

絶滅のおそれのある地域個体群：地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

表３－９　注目すべき爬虫類（ニホンカナヘビ）

和　　名	ニホンカナヘビ（カナヘビ科）
選定根拠	・　要注目：「栃木県レッドリスト*1」
生態	本種は丘陵部や山地では、主に森林の林縁部、平野部では、森林の林縁部の他、水田や住宅地・商業地の草地などに生息する。栃木県内には標高 15mの平野部から 1,250mの山地まで広く分布している。人家の庭先にも生息しているため、県内において最も身近な爬虫類と言うことができる。
確認状況	本調査では、丘陵地にあたる②、③の地点で確認されている。
生態写真	 ニホンカナヘビ（現地調査日：平成 23 年 5 月 20 日）

表３－１０　注目すべき爬虫類（シマヘビ）

和　　名	シマヘビ（ナミヘビ科）
選定根拠	・　要注目：「栃木県レッドリスト*1」
生態	全長は 80～200cm、主要な餌はカエル類であり、爬虫類、鳥類、哺乳類等も捕食する。生息環境は多様で、水田、草地・荒地、林・森、住宅地・商業地等で確認されている。県内で確認事例が多いのは、平野部から丘陵地にかけての地域である。
確認状況	本調査では、①、③、④、⑤、⑥の地点で確認されている。
生態写真	 シマヘビ（現地調査日：平成 23 年 5 月 9 日）

表３－１１　注目すべき爬虫類（アオダイショウ）

和　　名	アオダイショウ（ナミヘビ科）
選定根拠	・　要注目：「栃木県レッドリスト*1」
生態	全長 110～190cm。小型哺乳類及び鳥類を主食とし、樹木や住宅の壁などに登っていることも多い。幼体はカエルやトカゲも捕食する。草地・荒地、水田、林、森、住宅地、商業地と様々な環境に生息する。
確認状況	本調査では、丘陵地である①の地点で確認されている。
生態写真	 アオダイショウ（現地調査日：平成 23 年 5 月 20 日）

表３－１２　注目すべき爬虫類（ヤマカガシ）

和　　名	ヤマカガシ（ナミヘビ科）
選定根拠	・ C：「栃木県レッドリスト*1」
生態	全長は 70～150cm、褐色の地に黒、赤、黄色の斑紋をもっているが、地域によって色彩の変異が大きい。主要な餌は、主にカエル類であり、魚等も捕食する。生息環境は、水田などの水辺の他、森林や草地、荒地など多様である。
確認状況	本調査では、①、②、③、④の地点で確認されている。
生態写真	 ヤマカガシ（現地調査日：平成 23 年 6 月 13 日）

３－３　昆虫類調査結果

３－３－１　昆虫類相

本調査において確認された昆虫類は、表３－１３に示すとおり、17 目 159 科 654 種であった。（なお、種名は添付資料 4「昆虫出現種リスト」に記載した。）

目別ではコウチュウ目が最も多く 246 種が確認され､次いでチョウ目が 119 種確認された。

確認された種が最も多かった地点は②で 321 種、次いで①が 308 種、③が 282 種であり、これらはすべて丘陵地である。河川環境である④では 192 種が確認され、水田地帯である⑤、⑥では、それぞれ 151 種、132 種が確認された。

表３－１３　昆虫類目別確認種数

目名	科数	種数						
		①	②	③	④	⑤	⑥	全地点
ｲｼﾉﾐ	1	0	0	1	0	0	0	1
ﾄﾝﾎﾞ	7	21	20	16	10	7	13	28
ｺﾞｷﾌﾞﾘ	1	0	0	1	0	0	0	1
ｶﾏｷﾘ	1	3	3	3	1	2	2	3
ｼﾛｱﾘ	1	0	0	0	1	0	0	1
ﾊﾞｯﾀ	10	31	28	22	20	12	17	43
ﾅﾅﾌｼ	1	1	3	2	0	0	0	3
ﾊｻﾐﾑｼ	1	0	0	0	0	1	0	1
ｶﾒﾑｼ	29	43	34	42	27	21	15	80
ｱﾐﾒｶｹﾞﾛｳ	3	1	1	0	1	1	1	3
ｺｳﾁｭｳ	44	101	95	85	69	40	34	246
ﾊﾁ	23	40	50	47	23	31	13	93
ｼﾘｱｹﾞﾑｼ	1	1	0	0	0	0	0	1
ﾊｴ	10	17	15	18	3	6	7	30
ﾄﾋﾞｹﾗ	1	0	0	0	1	1	1	1
ﾁｮｳ	25	49	72	45	36	29	23	119
17 目	159 科	308 種	321 種	282 種	192 種	151 種	132 種	654 種

３－３－２　注目すべき昆虫類

本調査において確認された注目すべき昆虫類は、表３－１４に示すとおり 6 目 17 科 21 種があげられ、表３－１５～表３－３５には注目すべき昆虫類の生態及び確認状況について示す。

表３－１４　注目すべき両生類

目名	科名	種名	確認地点	栃木県 RL＊1	環境省 RL＊2
ﾄﾝﾎﾞ	ｻﾅｴﾄﾝﾎﾞ	ﾎﾝｻﾅｴ	③	要注目	－
	ﾄﾝﾎﾞ	ﾏｲｺｱｶﾈ	①②③⑥	C	－
		ﾋﾒｱｶﾈ	②	C	－
ﾊﾞｯﾀ	ﾊﾞｯﾀ	ｶﾜﾗﾊﾞｯﾀ	④	要注目	－
ｶﾒﾑｼ	ﾊﾈﾅｶﾞｳﾝｶ	ﾏｴｸﾞﾛﾊﾈﾅｶﾞｳﾝｶ	③	情報不足	－
ｱﾐﾒｶｹﾞﾛｳ	ﾂﾉﾄﾝﾎﾞ	ｷﾊﾞﾈﾂﾉﾄﾝﾎﾞ	①②	要注目	－
ｺｳﾁｭｳ	ﾊﾝﾐｮｳ	ﾊﾝﾐｮｳ	②	C	－
		ｱｲﾇﾊﾝﾐｮｳ	④	C	－
	ｵｻﾑｼ	ｵｵﾋﾗﾀﾄｯｸﾘｺﾞﾐﾑｼ	②	A	－
	ｶﾞﾑｼ	ｶﾞﾑｼ	②	要注目	－
	ｼﾞｮｳｶｲﾎﾞﾝ	ｷｲﾛｼﾞｮｳｶｲ	②	C	－
	ｶﾐｷﾘﾑｼ	ﾖﾂﾎﾞｼｶﾐｷﾘ	①	B	絶滅危惧Ⅱ類
	ﾊﾑｼ	ﾖﾂﾎﾞｼｱｶﾂﾂﾊﾑｼ	④	C	－
	ｿﾞｳﾑｼ	ｵﾅｶﾞｶﾂｵｿﾞｳﾑｼ	②	C	－
		ｽｹﾞﾋﾒｿﾞｳﾑｼ	②	要注目	－
		ｽｹﾞﾉﾊﾗｼﾞﾛﾋﾒｿﾞｳﾑｼ	②	C	－
ﾁｮｳ	ｾｾﾘﾁｮｳ	ｵｵﾁｬﾊﾞﾈｾｾﾘ	③	要注目	－
	ｱｹﾞﾊﾁｮｳ	ｼﾞｬｺｳｱｹﾞﾊ	②④	要注目	－
	ｼﾛﾁｮｳ	ﾂﾏｸﾞﾛｷﾁｮｳ	①③④⑤	要注目	絶滅危惧Ⅱ類
	ﾀﾃﾊﾁｮｳ	ｵｵﾑﾗｻｷ	①②③④	要注目	準絶滅危惧
	ｼﾞｬﾉﾒﾁｮｳ	ｵｵﾋｶｹﾞ	①	要注目	－
6 目	17 科	21 種	－	21 種	3 種

＊1　栃木県「栃木県版レッドリスト（２０１１改定版）栃木県の保護上注目すべき野生動植物・地形・地質」2011

絶滅：県内ではすでに絶滅したと考えられる生物

絶滅危惧Ⅰ類：(A ランク）絶滅の危機に瀕している生物

絶滅危惧Ⅱ類：(B ランク）絶滅の危険が増大している生物

準絶滅危惧：(C ランク）存続基盤が脆弱な生物

情報不足：評価するだけの情報が不足している生物

絶滅のおそれのある地域個体群：地域的に孤立しており、地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群

要注目：注目すべき生物

＊2　環境省「修正版レッドリスト　昆虫類類（環境省報道発表)」2007

絶滅：我が国ではすでに絶滅したと考えられる種

野生絶滅：飼育・栽培下でのみ存続している種

絶滅危惧Ⅰ類：絶滅の危機に瀕している種

絶滅危惧ⅠＡ類：ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種

絶滅危惧ⅠＢ類：ⅠＡ類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種

絶滅危惧Ⅱ類：絶滅の危険が増大している種

準絶滅危惧：現時点では絶滅危険度は小さいが、生息状況の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種

情報不足：評価するだけの情報が不足している種

絶滅のおそれのある地域個体群：地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

表３－１５　注目すべき昆虫類（ホンサナエ）

和　　名	ホンサナエ（サナエトンボ科）
選定根拠	・　要注目：「栃木県レッドリスト*1」
生態	本種は、腹部が太く、ずんぐりした体形の中型のトンボである。日本に生息するトンボの中で最も早く発生し、成虫は 4 月上旬から 6 月下旬まで見られる。生息環境は、平地、丘陵地や低山地の河川であり、標高 500m 以上の山地ではあまり見られない。
確認状況	本調査では、丘陵地である地点③で確認されている。
生態写真	 ホンサナエ（現地調査日：平成 23 年 6 月 4 日）

表３－１６　注目すべき昆虫類（マイコアカネ）

和　　名	マイコアカネ（トンボ科）
選定根拠	・ C:「栃木県レッドリスト*1」
生態	本種は北海道～九州まで分布し、産地は比較的限られている。主に平地や丘陵地の挺水植物が繁茂する腐植栄養型の池沼に生息する。栃木県では平地や丘陵地の水生植物のよく繁茂している池沼や河川の小水域に生息しているが、生息地は局限され、個体数は少ない。
確認状況	本調査では、①、②、③、⑥の地点で確認されている。
生態写真	 マイコアカネ（現地調査日：平成 23 年 8 月 10 日）

表３－１７　注目すべき昆虫類（ヒメアカネ）

和　　名	ヒメアカネ（トンボ科）
選定根拠	・ C:「栃木県レッドリスト*1」
生態	本種は、海道～九州まで分布し、栃木県において、かつては普通種であったが、生息環境の悪化などで、生息地、個体数ともに減少している。平地、丘陵地、低山地の背丈の低い水生植物が繁茂する湧水のある湿地や休耕田、放置水田に生息している。
確認状況	本調査では、②の地点で確認されている。
生態写真	 ヒメアカネ（現地調査日：平成 23 年 8 月 4 日）

表３－１８　注目すべき昆虫類（カワラバッタ）

和　　名	カワラバッタ（バッタ科）
選定根拠	・　要注目：「栃木県レッドリスト*1」
生態	本種は、中型のバッタで、灰色の体色により生息地である河原の石にとけこみやすい。河原の砂礫地や裸地に生息している。河川の汚れや河川の開発によって各地で激減している。
確認状況	本調査では、河川環境である地点④で確認されている。
生態写真	 カワラバッタ（現地調査日：平成 23 年 9 月 30 日）

表３－１９　注目すべき昆虫類（マエグロハネナガウンカ）

和　　名	マエグロハネナガウンカ（ハネナガウンカ科）
選定根拠	・　情報不足：「栃木県レッドリスト*1」
生態	本種は、体は小さく前翅が非常に長い。成虫は 7～8 月に出現する。生息環境は、平地から山地にかけての森林内あるいは林縁部である。
確認状況	本調査では、丘陵地である地点③で確認されている。

表３－２０　注目すべき昆虫類（キバネツノトンボ）

和　　名	キバネツノトンボ（ツノトンボ科）
選定根拠	・　要注目：「栃木県レッドリスト*1」
生態	本種は、外見は一見トンボ類を思わせるが、触角は黒色で長く、先端がつぶれた様に丸くなる。成虫は４月～6 月に出現し、昼間活動し、草原を活発に飛翔する。生息環境は山地から平野の草原である。
確認状況	本調査では、丘陵地である①、②で確認されている。
生態写真	 キバネツノトンボ（現地調査日：平成 23 年 6 月 3 日）

表３－２１　注目すべき昆虫類（ハンミョウ）

和　　名	ハンミョウ（ハンミョウ科）
選定根拠	・　C：「栃木県レッドリスト*1」
生態	本種は、美しい体色をしているため、他の種との区別が容易である。舗装されていない山道等に生息している。成虫、幼虫ともに捕食性で、幼虫は地面に穴を掘って獲物が来るのを待ち伏せる。
確認状況	本調査では、丘陵地である②で確認されている。本来は、春から初夏にかけて見られる種だが、本調査では秋季調査時に確認された。

表３－２２　注目すべき昆虫類（アイヌハンミョウ）

和　　名	アイヌハンミョウ（ハンミョウ科）
選定根拠	・ C:「栃木県レッドリスト*1」
生態	本種は、体色は暗緑色で、上翅には肩部近く、翅中央部、翅端部に黄白色の斑紋を有する。生息環境は、上流域から中流域にかけての河原であり、晴れた日の日中に大きな石の上で活動しているのを見かける。
確認状況	本調査では、河川環境である④で確認されている。本来は、春から初夏にかけて見られる種だが、本調査では秋季調査時に確認された。
生態写真	 アイヌハンミョウ（現地調査日：平成 23 年 9 月 30 日）

表３－２３　注目すべき昆虫類（オオヒラタトックリゴミムシ）

和　　名	オオヒラタトックリゴミムシ（オサムシ科）
選定根拠	・ A:「栃木県レッドリスト*1」
生態	本種は、南方系の種で主に水辺の灯火に集まった個体が発見される。恐らく水辺に生息すると思われるが詳しい生息地の様子は明らかでない。
確認状況	本調査では、地点②で確認されている。
生態写真	 オオヒラタトックリゴミムシ（現地調査日：平成 23 年 8 月 4 日）

表３－２４　注目すべき昆虫類（ガムシ）

和　　名	ガムシ（ガムシ科）
選定根拠	・　要注目：「栃木県レッドリスト*1」
生態	本種は、体が大きく、日本産ガムシ科甲虫の最大種である。生息環境は、池沼、湿地、休耕田等の水域であり、夏季には灯火にもよく飛来する。
確認状況	本調査では、地点②で確認されている。
生態写真	 ガムシ（現地調査日：平成 23 年 9 月 29 日）

表３－２５　注目すべき昆虫類（キイロジョウカイ）

和　　名	キイロジョウカイ（ジョウカイボン科）
選定根拠	・　C：「栃木県レッドリスト*1」
生態	本種は、本県原産であり、生息環境は、ハンノキ林湿地や溜池周辺の湿地である。成虫は 5 月から 6 月にかけて現れ、各種の花に飛来する。
確認状況	本調査では、地点②で確認されている。
生態写真	 キイロジョウカイ（現地調査日：平成 23 年 6 月 3 日）

表３－２６　注目すべき昆虫類（ヨツボシカミキリ）

和　　名	ヨツボシカミキリ（カミキリムシ科）
選定根拠	・ B:「栃木県レッドリスト*1」 ・ 絶滅危惧Ⅱ類:「環境省レッドリスト*2」
生態	本種は、5月から8月に出現する。寄主植物はクリをはじめとする各種広葉樹であり、灯火にも集まる。
確認状況	本調査では、地点②で確認されている。

表３－２７　注目すべき昆虫類（ヨツボシアカツツハムシ）

和　　名	ヨツボシアカツツハムシ（ハムシ科）
選定根拠	・ C:「栃木県レッドリスト*1」
生態	本種は、体背面が赤褐色で、上翅の基部、肩部、中央後方には大型の黒色横帯があり、県内には似た種がいないため区別は容易である。成虫は7月から9月に河川敷のカワラヨモギ上に見られる。
確認状況	本調査では、河川環境である④の地点で確認されている。

表３－２８　注目すべき昆虫類（オナガカツオゾウムシ）

和　　名	オナガカツオゾウムシ（ゾウムシ科）
選定根拠	・ C:「栃木県レッドリスト*1」
生態	本種は、体が黒色で細長く、上翅端は細長く突出し、会合部は切れ込む。成虫は5月から7月に見られ、食草としてドクゼリが知られている。平地から丘陵地の湿地、沼、河川敷に生息する。
確認状況	本調査では、丘陵地である②の地点で確認されている。

表３－２９　注目すべき昆虫類（スゲヒメゾウムシ）

和　　名	スゲヒメゾウムシ（ゾウムシ科）
選定根拠	・　要注目：「栃木県レッドリスト*1」
生態	本種は、体色が黒色で光沢がある。成虫は 4 月から 6 月にアゼスゲ、カサスゲ等のスゲ類で見つかる。生息環境は、平地から丘陵地の湿地、谷戸などであり、県内では標高 300m 以下の良好な湿地に限定的に確認されている。
確認状況	本調査では、丘陵地である②の地点で確認されている。本来は、春から初夏にかけて見られる種だが、本調査では秋季調査時に確認された。
生態写真	 スゲヒメゾウムシ（現地調査日：平成 23 年 9 月 30 日）

表３－３０　注目すべき昆虫類（スゲノハラジロヒメゾウムシ）

和　　名	スゲノハラジロヒメゾウムシ（ゾウムシ科）
選定根拠	・　C：「栃木県レッドリスト*1」
生態	本種は、体色が黒色で光沢がある。成虫は 4 月から 6 月に湿地のアゼスゲやオニナルコスゲなどのスゲ類上に見られる。
確認状況	本調査では、丘陵地である②の地点で確認されている。

表３－３１　注目すべき昆虫類（オオチャバネセセリ）

和　　名	オオチャバネセセリ（セセリチョウ科）
選定根拠	・　要注目：「栃木県レッドリスト*1」
生態	成虫は6月～9月に出現し、年に2回発生すると考えられている。各種の花に集まり、とくにアザミ類の花には多数が訪花し、吸蜜する。雄は翅を少し開いた状態で葉上などに静止し、他個体の動きに敏感に反応し、追飛行動を行い、また、もとの場所に戻り静止するという行動を繰り返す。幼虫はアズマネザサ、ススキ、コンゴウザサなどを食草とする。
確認状況	本調査では、丘陵地である③の地点で確認されている。
生態写真	 オオチャバネセセリ（現地調査日：平成23年9月30日）

表３－３２　注目すべき昆虫類（ジャコウアゲハ）

和　　名	ジャコウアゲハ（アゲハチョウ科）
選定根拠	・　要注目：「栃木県レッドリスト*1」
生態	本種は、年 3 化で、食草はウマノスズクサであり、蛹で越冬する。成虫は種々の花に集まり、野生種のほか住宅地の栽培種にも飛来して吸蜜する。
確認状況	本調査では、②、④の地点で確認されている。

表３－３３　注目すべき昆虫類（ツマグロキチョウ）

和　　名	ツマグロキチョウ（シロチョウ科）
選定根拠	・　要注目：「栃木県レッドリスト*1」 ・　絶滅危惧Ⅱ類：「環境省 RL*2」
生態	本種は本州、四国、九州に分布する。成虫はカワラケツメイに産卵し、幼虫はそれを食草とする。年に 3～4 回の発生を繰り返し、成虫で越冬するため、一年中成虫を見ることができる。 生息地は食草が生える河川敷などの自然的または人為的に裸地化した場所に多いが、まったく食草がみられない、市街地でもときおり姿を見ることがある。栃木県内の平地では普通に見られるが、高標高地では稀である。本県ではまだ個体数はそれほど減少していないが、全国的には明らかに減少傾向にある。
確認状況	本調査では、①、③、④、⑤の地点で確認されている。
生態写真	 ツマグロキチョウ（現地調査日：平成 23 年 9 月 29 日）

表３－３４　注目すべき昆虫類（オオムラサキ）

和　　名	オオムラサキ（タテハチョウ科）
選定根拠	・　要注目：「栃木県レッドリスト*1」 ・　準絶滅危惧：「環境省 RL*2」
生態	本種は日本固有種、国蝶である。低地の雑木林に棲み、幼虫の食樹はエノキ、エゾエノキが知られ、成虫はクヌギ・コナラ等の樹液を好む。栃木県では平地から低山地にかけて広く分布するが、飛翔力が強いため稀に山地でも発見される。エノキの多い平地林の伐採が進んできた最近では、個体数は激減し分布範囲も次第に狭くなってきた。
確認状況	本調査では、①、②、③、④の地点で確認されている。
生態写真	 オオムラサキ（現地調査日：平成 23 年 8 月 4 日）

表３－３５　注目すべき昆虫類（オオヒカゲ）

和　　名	オオヒカゲ（ジャノメチョウ科）
選定根拠	・　要注目：「栃木県レッドリスト*1」
生態	本種は、大型で非常に目立ち、他に似た種がいないため、区別は容易である。成虫は長命で 6 月上旬から 9 月下旬の長期間見ることができる。生息環境は、平地から低山地のスゲ類の多く生育する池沼や湿地である。成虫は、クヌギ、コナラ、ヤナギ類の樹液を訪れて吸汗する。
確認状況	本調査では、丘陵地である①の地点で確認されている。

３－４　各調査地点の概要

ア）丘陵地（地点①～③）

本市の丘陵地は、スギ･ヒノキの植林が大半を占めているが、一部にはまとまった落葉広葉樹林がある。また、谷部には開けた谷津田が広がっているほか、多くの林が河川、水田等の水辺環境と隣接し、多様な自然環境を形成している。

両生類の調査結果では、地点①において 5 種、②、③ではそれぞれ 4 種確認された。生息環境として水田などの水辺環境と樹林地を必要とするシュレーゲルアオガエルが、丘陵地である①～③でのみ確認された。

爬虫類については、地点①では 3 種、②では 2 種、③では 3 種確認された。本調査では、小型哺乳類や鳥類を主食とするアオダイショウは地点①でのみ確認された。

昆虫類については、丘陵地である地点①～③では、その他の地点よりも多くの種が確認されていて、最も多かった地点②では 321 種であった。

イ）河川（地点④）

本調査は、本市を代表する河川の一つである鬼怒川の河川敷で実施した。河川敷の一部にはアカマツ林が優占する河畔林やススキの草地が広がっている。

本調査では両生類が 3 種、爬虫類が 2 種確認された。

昆虫類については 192 種確認された。注目すべき種であり、河川環境に限定的に見られるカワラバッタ、アイヌハンミョウ及びヨツボシアカツツハムシが確認された。

ウ）水田（地点⑤，⑥）

本市南部の大部分は水田地帯であり、その中を大小様々な水路が走っている。また、小規模ではあるが社寺林や屋敷林などが点在している。

本調査では、それぞれの地点で両生類が 3 種、爬虫類が 1 種確認された。

昆虫類については、地点⑤、地点⑥においてそれぞれ 151 種、132 種確認された。

添付資料１：調査写真

平成23年5月20日

状況：調査地全景

地点：①

平成23年6月13日

状況：調査地全景

地点：①

平成23年5月20日

状況：調査地全景

地点：②

平成23年6月13日

状況：調査地全景

地点：②

平成23年5月20日

状況：調査地全景

地点：③

平成23年6月13日

状況：調査地全景

地点：③

平成23年5月9日

状況：調査地全景

地点：④

平成23年6月14日

状況：調査地全景

地点：④

平成23年5月9日

状況：調査地全景

地点：⑤

平成23年6月14日

状況：調査地全景

地点：⑤

平成23年5月9日

状況：調査地全景

地点：⑥

平成23年6月14日

状況：調査地全景

地点：⑥

添付資料２：両生類注目種確認位置図

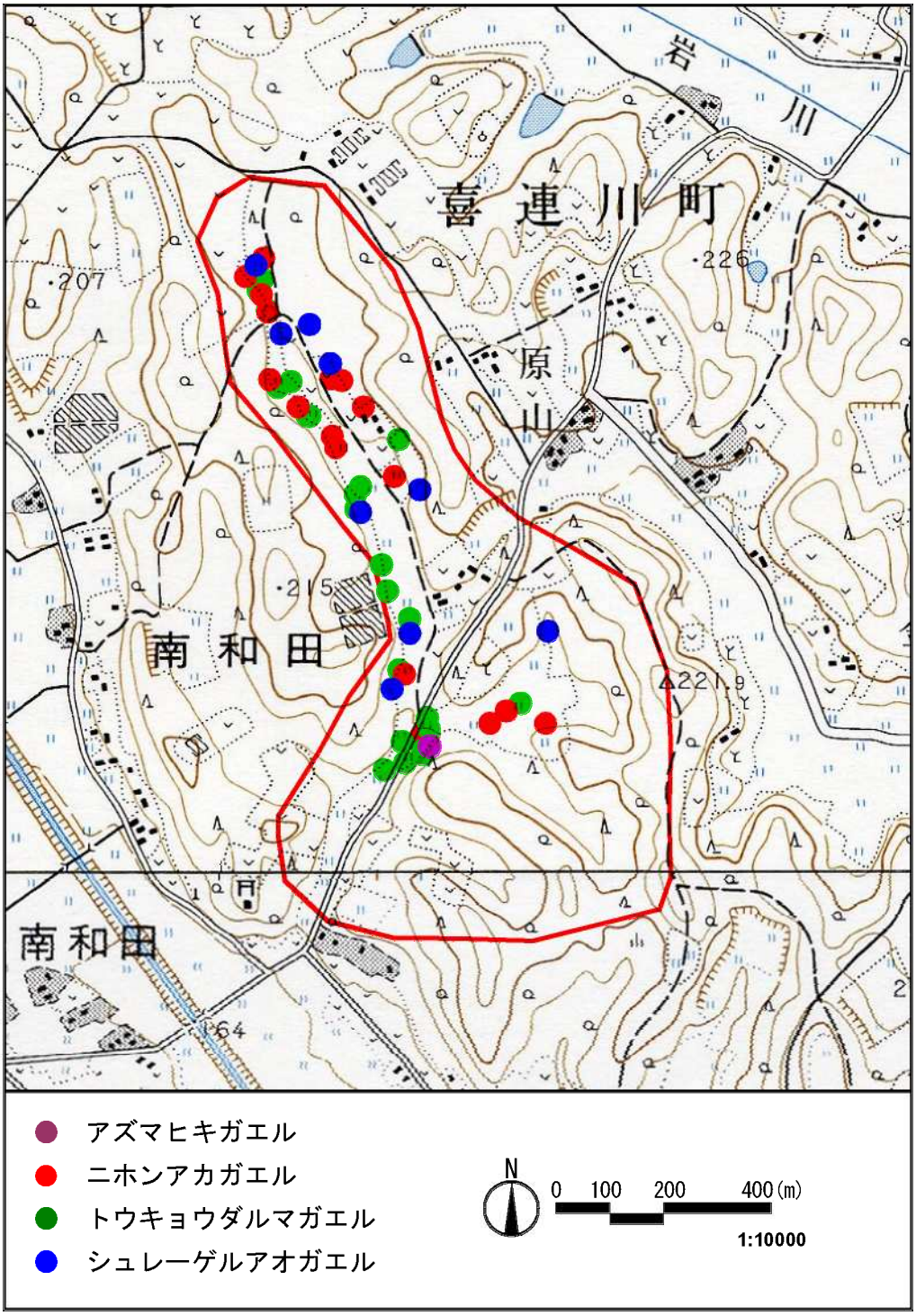

図　注目種確認位置（調査地①）

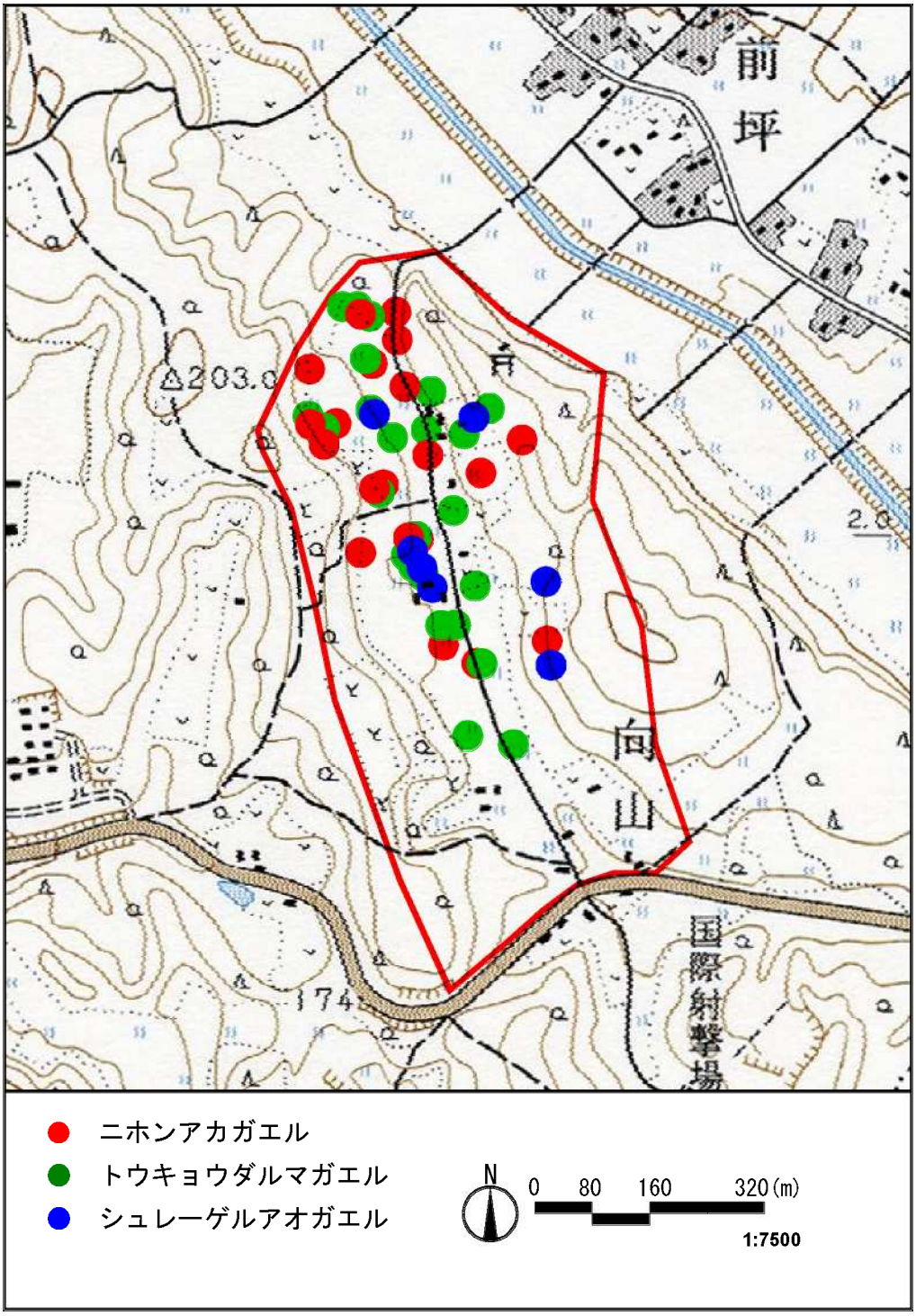

図　注目種確認位置（調査地②）

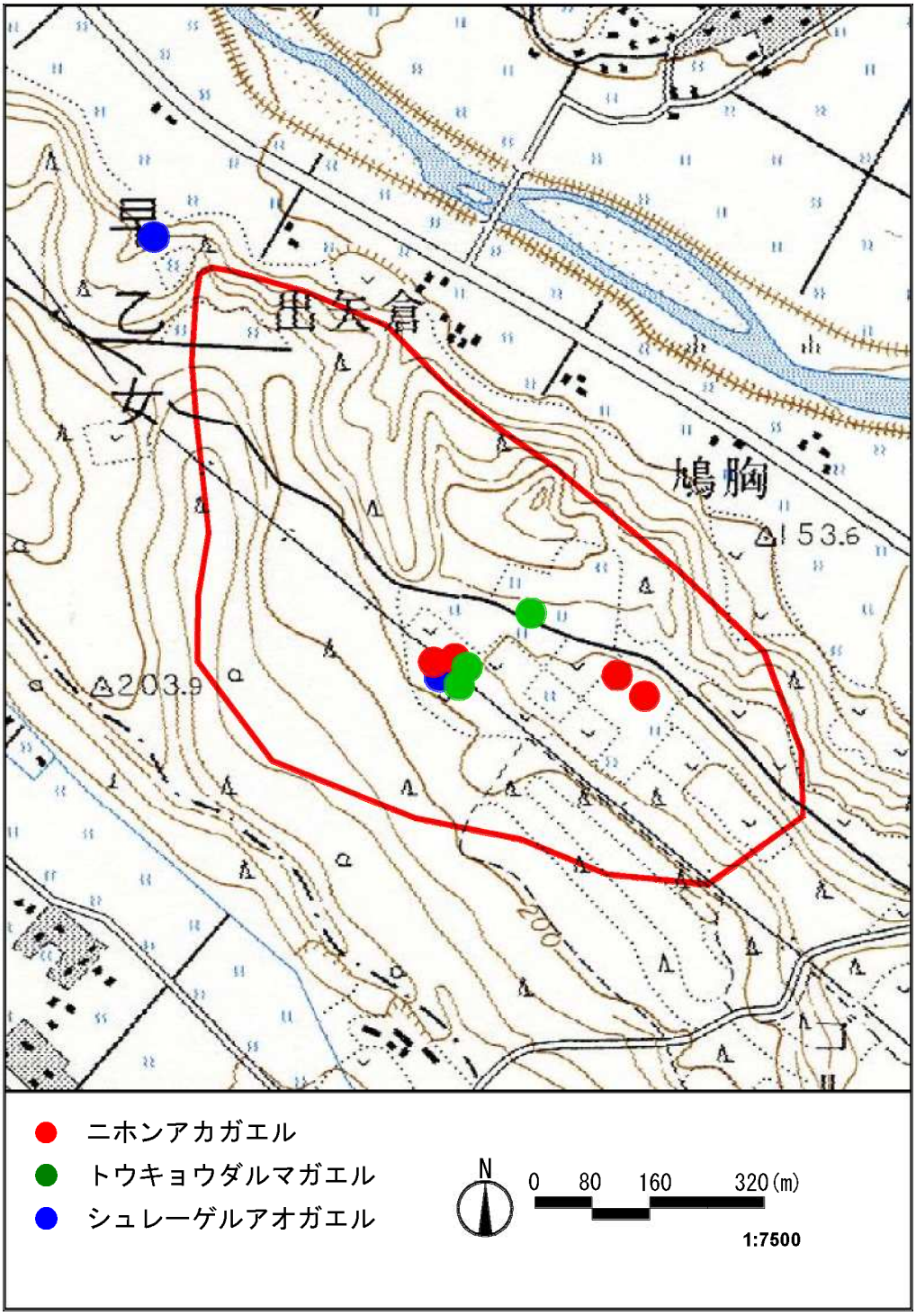

図　注目種確認位置（調査地③）

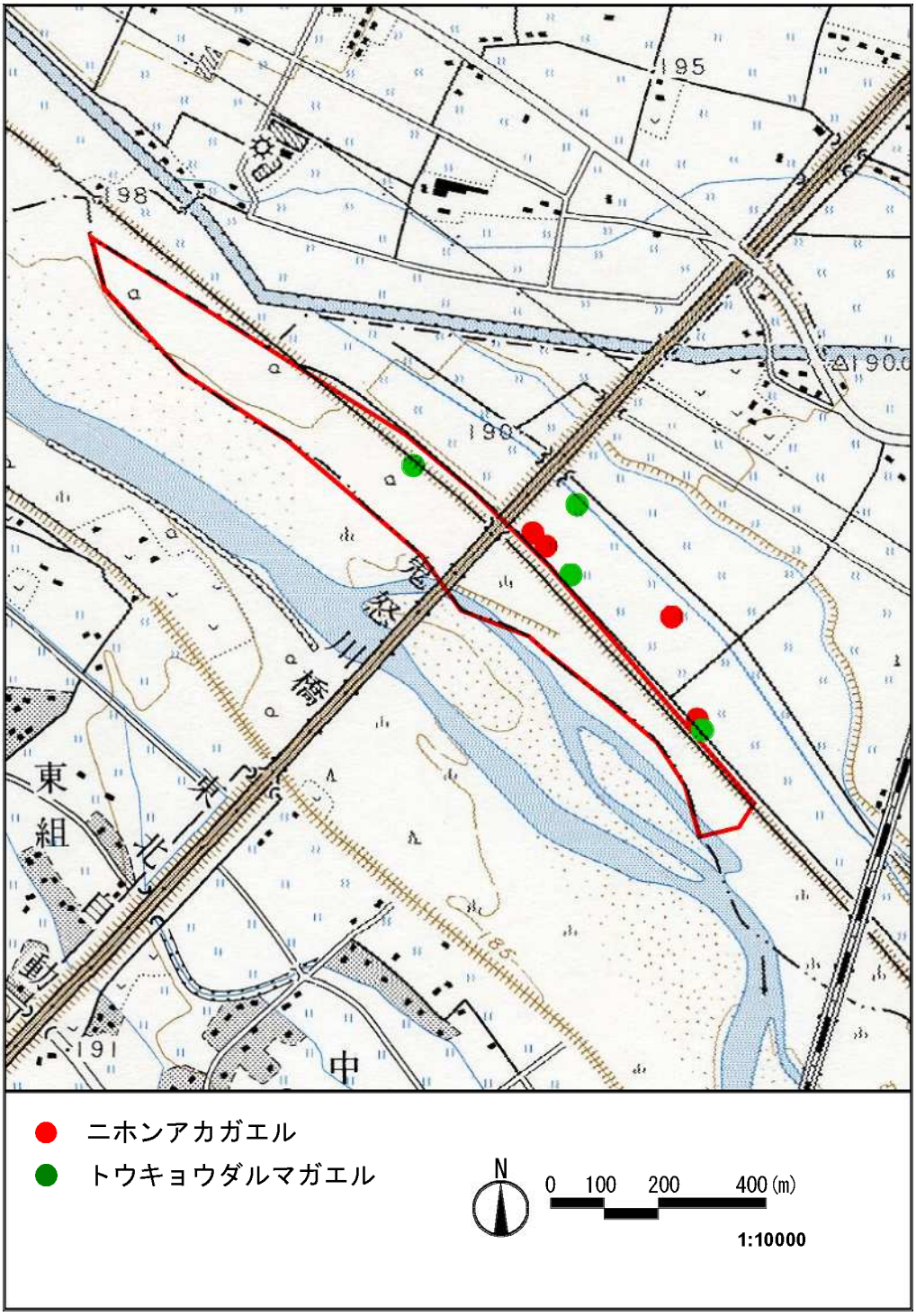

図　注目種確認位置（調査地④）

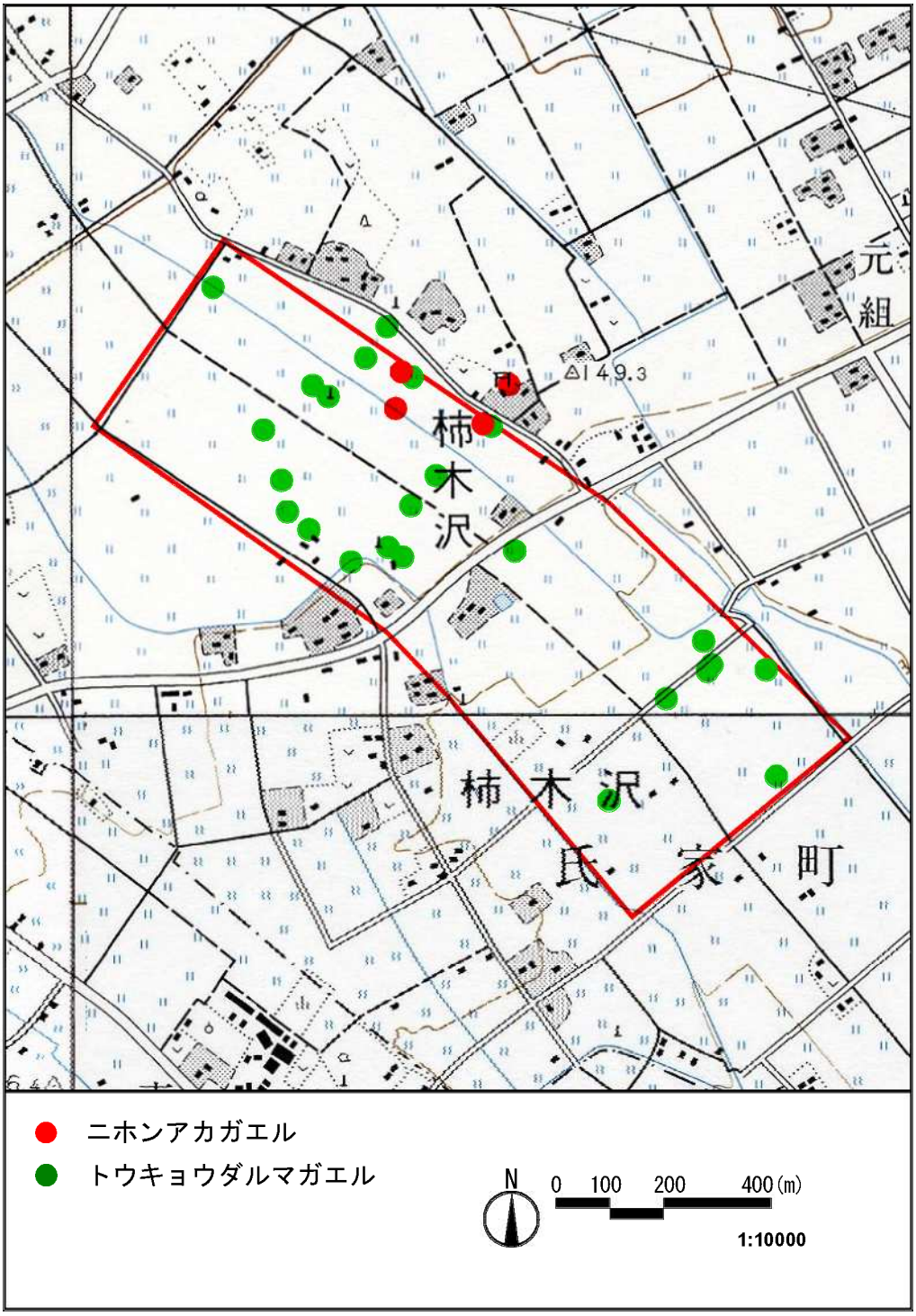

図　注目種確認位置（調査地⑥）

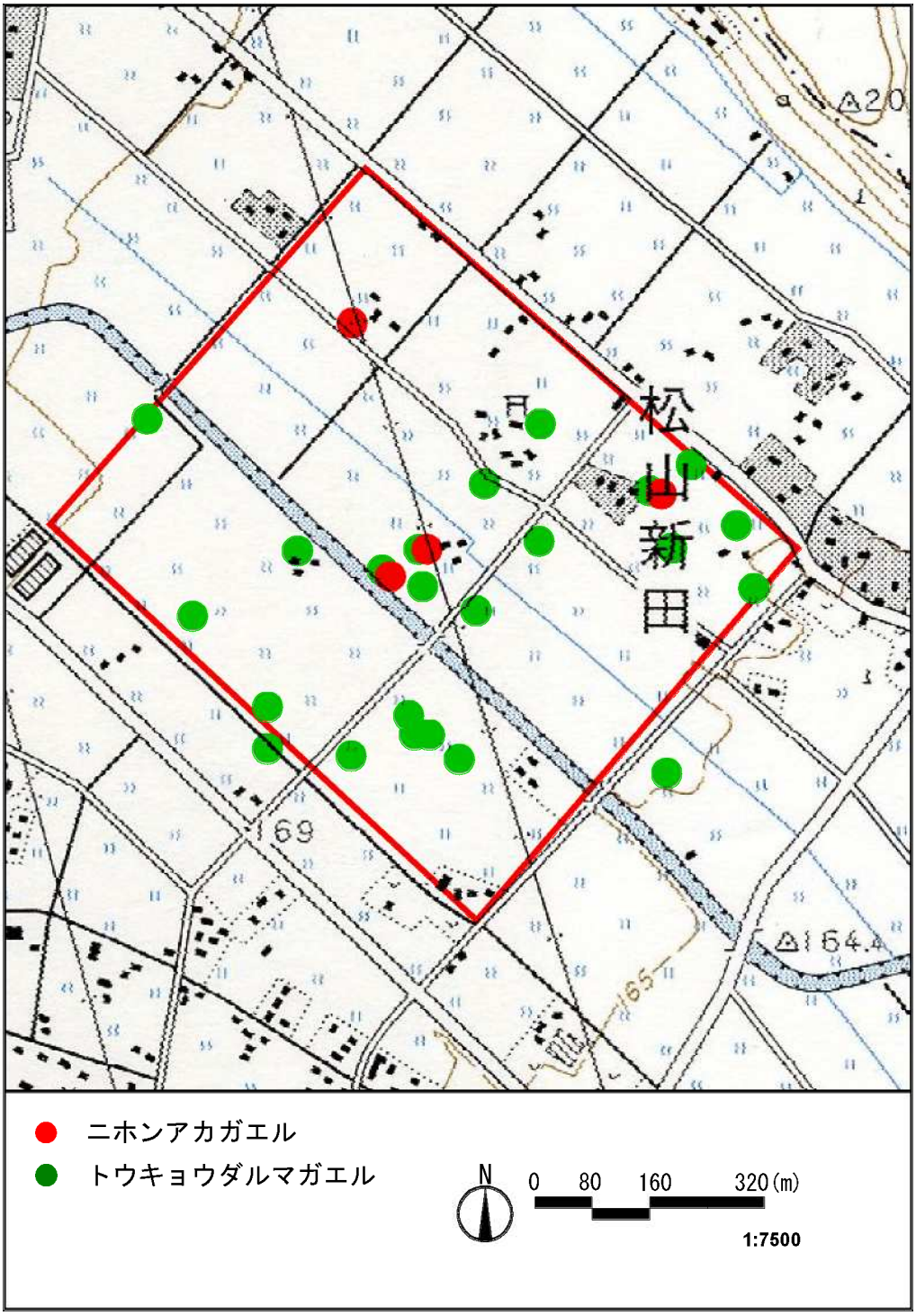

図　注目種確認位置（調査地⑤）

添付資料３：爬虫類注目種確認位置図

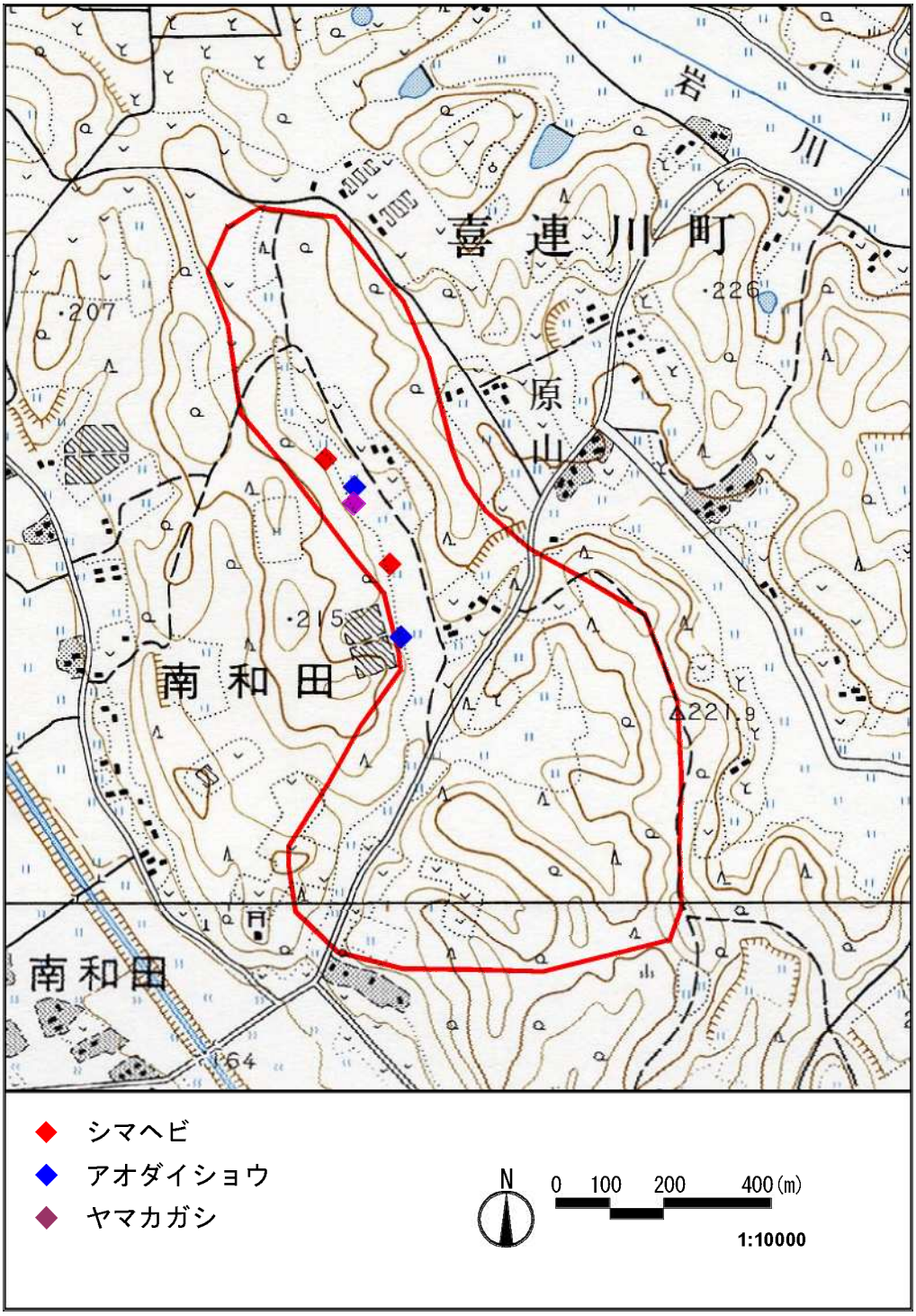

図　注目種確認位置（調査地①）

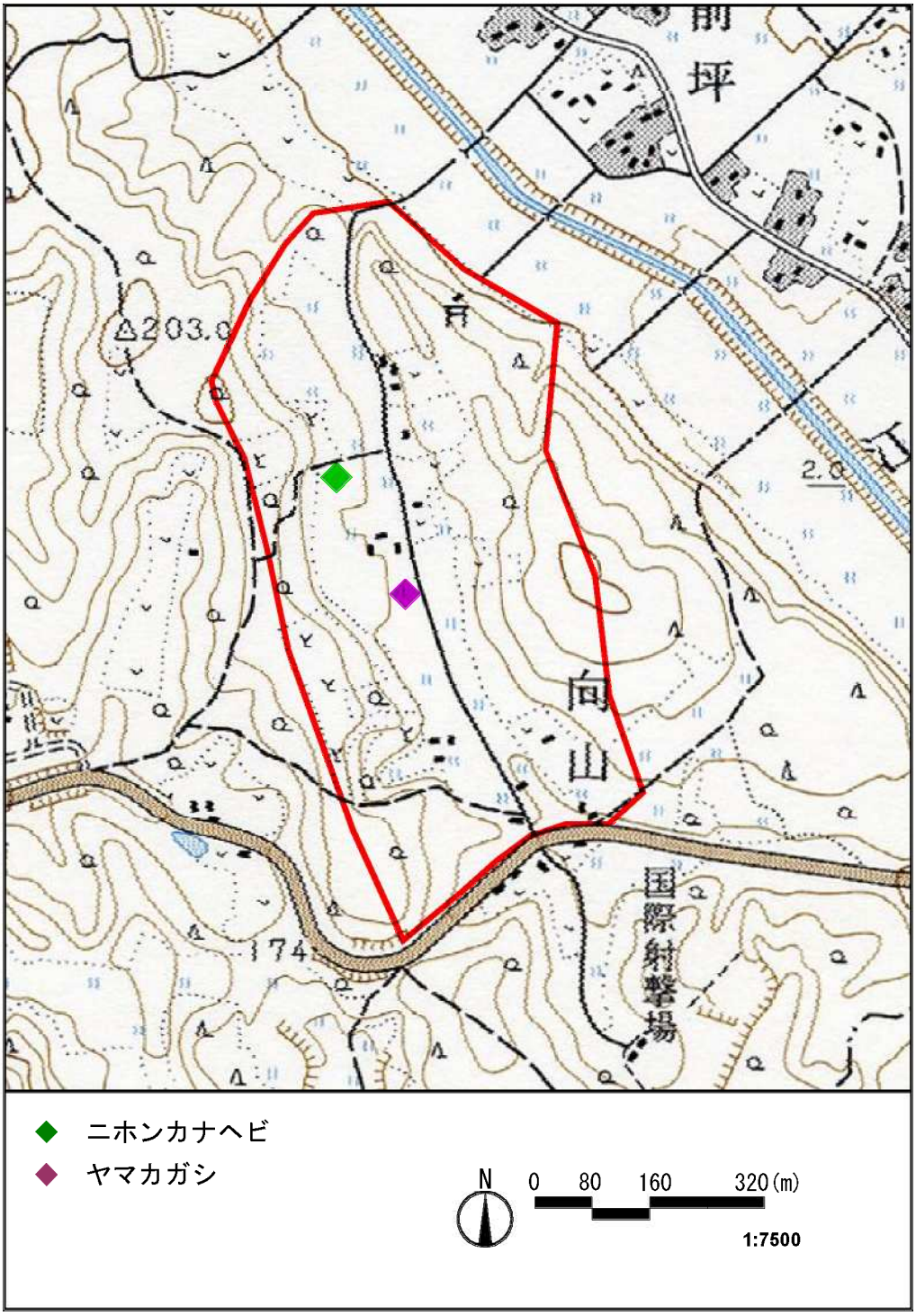

図　注目種確認位置（調査地②）

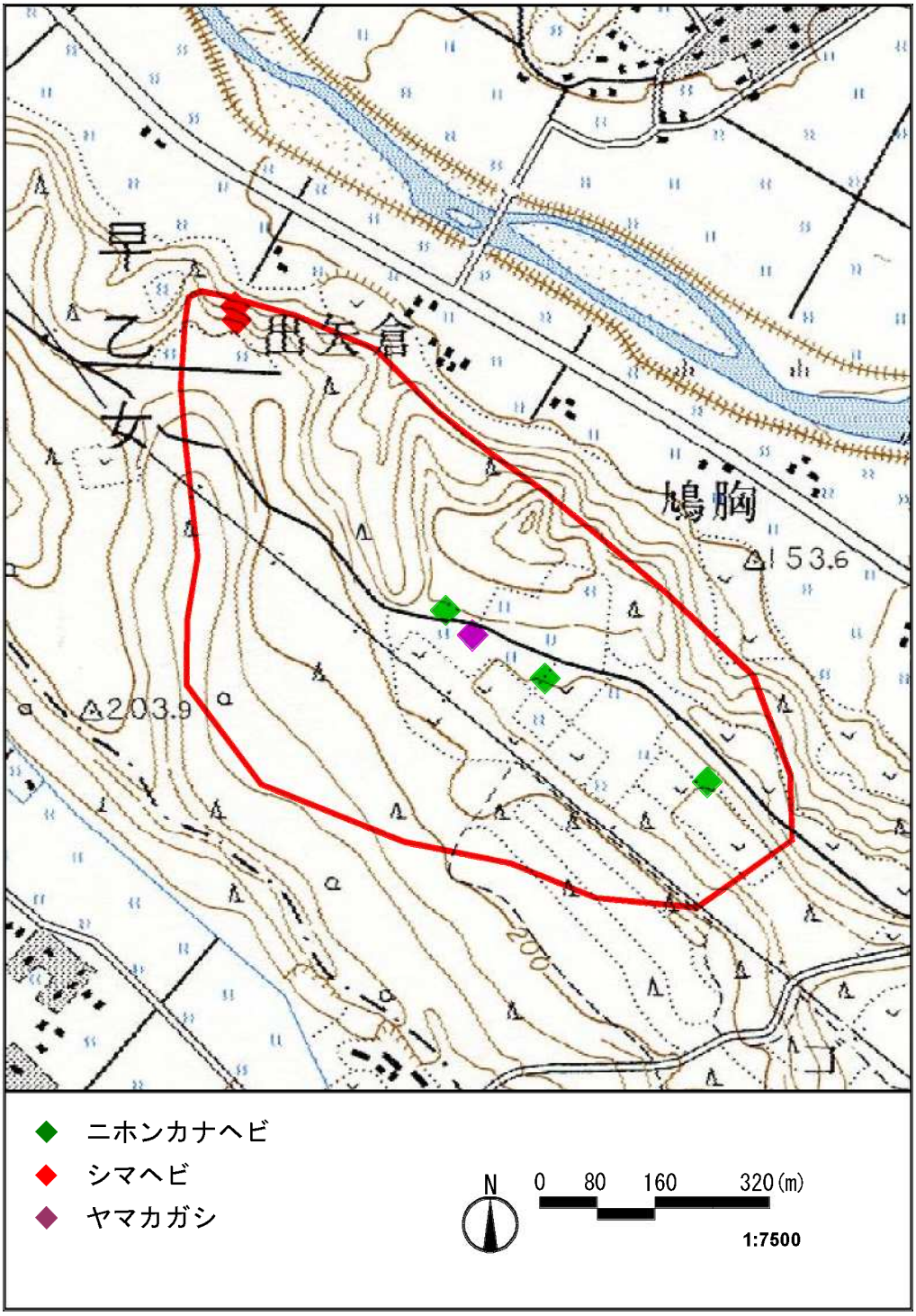

図　注目種確認位置（調査地③）

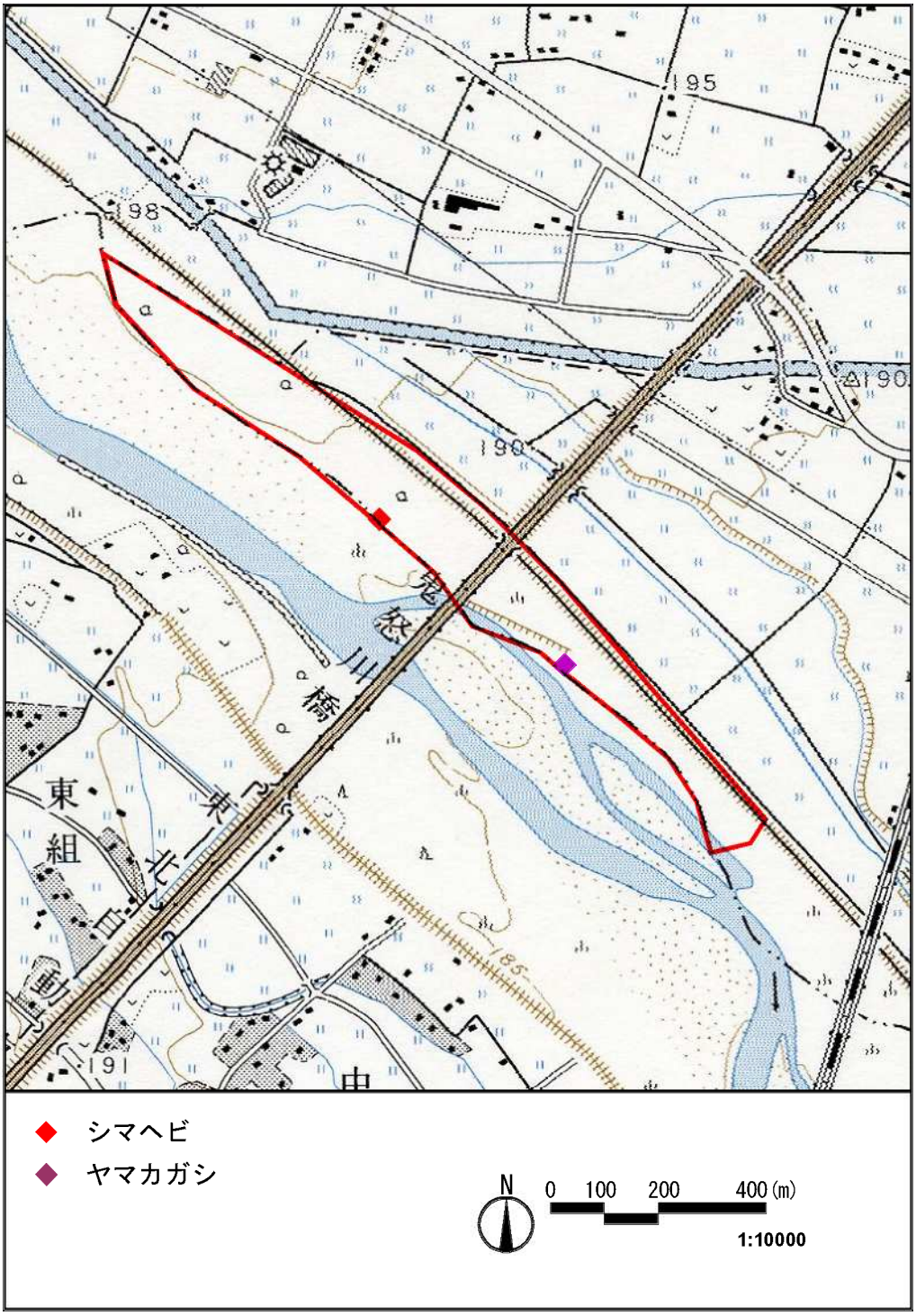

図　注目種確認位置（調査地④）

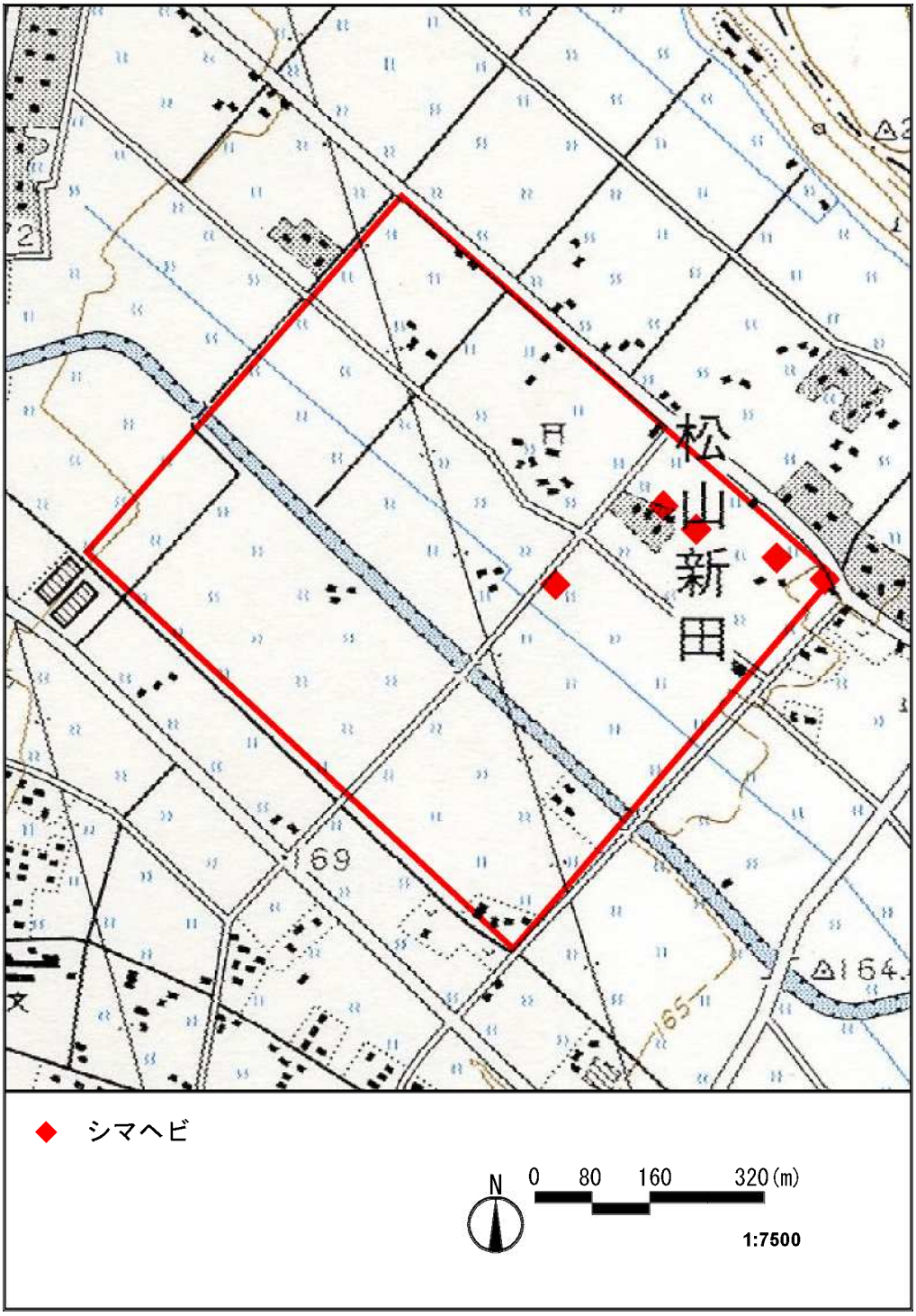

図　注目種確認位置（調査地⑤）

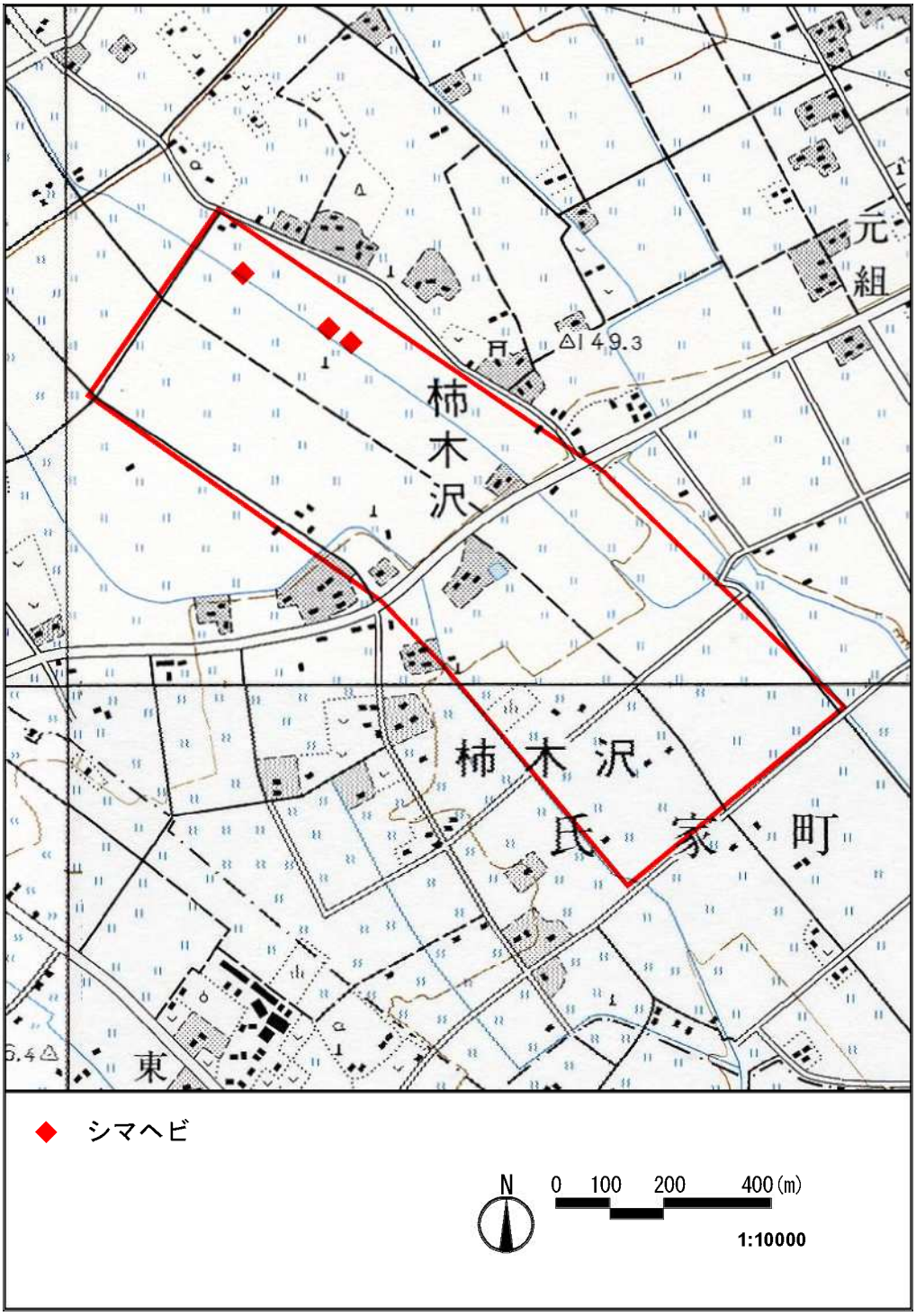

図　注目種確認位置（調査地⑥）

添付資料４：昆虫類出現種リスト

目名	科名	和名	調査地点						注目種	
			1	2	3	4	5	6	栃木県RL	環境省RL
ｲｼﾉﾐ	ｲｼﾉﾐ	ｲｼﾉﾐ			○					
ﾄﾝﾎﾞ	ﾓﾉｻｼﾄﾝﾎﾞ	ﾓﾉｻｼﾄﾝﾎﾞ	○							
	ｱｵｲﾄﾄﾝﾎﾞ	ﾎｿﾐｵﾂﾈﾝﾄﾝﾎﾞ	○	○	○	○				
		ｵｵｱｵｲﾄﾄﾝﾎﾞ	○	○	○					
	ｶﾜﾄﾝﾎﾞ	ﾊｸﾞﾛﾄﾝﾎﾞ	○	○	○	○	○	○		
		ﾐﾔﾏｶﾜﾄﾝﾎﾞ				○				
		ｱｵﾊﾀﾞﾄﾝﾎﾞ						○		
		ﾋｶﾞｼｶﾜﾄﾝﾎﾞ	○	○						
	ｻﾅｴﾄﾝﾎﾞ	ﾔﾏｻﾅｴ	○	○						
		ﾀﾞﾋﾞﾄﾞｻﾅｴ	○			○		○		
		ﾎﾝｻﾅｴ			○				要注目	
		ｵﾅｶﾞｻﾅｴ			○					
		ｺｵﾆﾔﾝﾏ		○				○		
	ｵﾆﾔﾝﾏ	ｵﾆﾔﾝﾏ	○	○	○					
	ﾔﾝﾏ	ｷﾞﾝﾔﾝﾏ		○				○		
	ﾄﾝﾎﾞ	ｼｮｳｼﾞｮｳﾄﾝﾎﾞ	○	○						
		ﾊﾗﾋﾞﾛﾄﾝﾎﾞ	○	○	○	○	○	○		
		ｼｵｶﾗﾄﾝﾎﾞ	○	○	○		○	○		
		ｼｵﾔﾄﾝﾎﾞ	○	○						
		ｵｵｼｵｶﾗﾄﾝﾎﾞ	○	○	○					
		ｳｽﾊﾞｷﾄﾝﾎﾞ	○		○					
		ｺｼｱｷﾄﾝﾎﾞ	○							
		ﾅﾂｱｶﾈ	○	○	○	○	○	○		
		ﾏﾕﾀﾃｱｶﾈ	○	○	○	○		○		
		ｱｷｱｶﾈ	○	○	○	○	○	○		
		ﾉｼﾒﾄﾝﾎﾞ	○	○	○	○	○	○		
		ﾏｲｺｱｶﾈ	○	○	○			○	C	
		ﾋﾒｱｶﾈ		○					C	
		ﾐﾔﾏｱｶﾈ	○	○	○	○	○	○		
ｺﾞｷﾌﾞﾘ	ｺﾞｷﾌﾞﾘ	ﾔﾏﾄｺﾞｷﾌﾞﾘ			○					
ｶﾏｷﾘ	ｶﾏｷﾘ	ﾊﾗﾋﾞﾛｶﾏｷﾘ	○	○	○					
		ｺｶﾏｷﾘ	○	○	○		○	○		
		ｵｵｶﾏｷﾘ	○	○	○	○	○	○		
ｼﾛｱﾘ	ﾐｿﾞｶﾞｼﾗｼﾛｱﾘ	ﾔﾏﾄｼﾛｱﾘ				○				
ﾊﾞｯﾀ	ｺﾛｷﾞｽ	ﾊﾈﾅｼｺﾛｷﾞｽ	○							
	ｹﾗ	ｹﾗ						○		
	ｺｵﾛｷﾞ	ﾊﾗｵｶﾒｺｵﾛｷﾞ	○	○	○	○		○		
		ﾐﾂｶﾄﾞｺｵﾛｷﾞ			○	○				
		ﾓﾘｵｶﾒｺｵﾛｷﾞ	○		○					
		ｼﾊﾞｽｽﾞ	○	○	○	○		○		
		ﾏﾀﾞﾗｽｽﾞ	○	○	○					
		ｴﾝﾏｺｵﾛｷﾞ	○	○	○	○	○	○		
		ﾂﾂﾞﾚｻｾｺｵﾛｷﾞ	○	○	○	○		○		
		ﾀﾝﾎﾞｺｵﾛｷﾞ	○	○				○		
		ｺｵﾛｷﾞ科の一種	○	○	○					
	ｸｻﾋﾊﾞﾘ	ﾔﾏﾄﾋﾊﾞﾘ	○		○					
		ｸｻﾋﾊﾞﾘ	○							
	ﾏﾂﾑｼ	ｱｵﾏﾂﾑｼ	○	○		○	○			
	ｶﾝﾀﾝ	ｶﾝﾀﾝ	○	○	○	○				
	ｷﾘｷﾞﾘｽ	ｸﾀﾞﾏｷﾓﾄﾞｷ	○	○						
		ﾂﾕﾑｼ	○	○	○	○	○	○		
		ｱｼｸﾞﾛﾂﾕﾑｼ	○	○	○					
		ｷﾘｷﾞﾘｽ	○							
		ﾋﾒｷﾞｽ		○	○					
		ｳｽｲﾛｻｻｷﾘ	○	○		○	○	○		
		ｻｻｷﾘ			○			○		
		ｸﾋﾞｷﾘｷﾞｽ		○						
		ﾋﾒｸｻｷﾘ					○			
		ﾊﾔｼﾉｳﾏｵｲ		○						
	ｵﾝﾌﾞﾊﾞｯﾀ	ｵﾝﾌﾞﾊﾞｯﾀ	○	○	○	○	○	○		
	ﾊﾞｯﾀ	ｼｮｳﾘｮｳﾊﾞｯﾀ	○	○	○	○	○	○		

目名	科名	和名	調査地点						注目種	
			1	2	3	4	5	6	栃木県RL	環境省RL
ﾊﾞｯﾀ	ﾊﾞｯﾀ	ﾋﾅﾊﾞｯﾀ	○	○		○				
		ｶﾜﾗﾊﾞｯﾀ				○			要注目	
		ｸﾙﾏﾊﾞｯﾀ	○	○	○	○	○	○		
		ｼｮｳﾘｮｳﾊﾞｯﾀﾓﾄﾞｷ				○				
		ﾄﾉｻﾏﾊﾞｯﾀ	○	○	○	○	○	○		
		ﾂﾏｸﾞﾛｲﾅｺﾞ	○	○	○					
		ﾂﾏｸﾞﾛﾊﾞｯﾀ					○			
		ﾅｷｲﾅｺﾞ	○			○				
		ｸﾙﾏﾊﾞｯﾀﾓﾄﾞｷ	○	○		○				
		ﾊﾈﾅｶﾞｲﾅｺﾞ	○	○	○		○	○		
		ｺﾊﾞﾈｲﾅｺﾞ	○	○		○	○	○		
		ﾔﾏﾄﾌｷﾊﾞｯﾀ		○						
		ﾂﾁｲﾅｺﾞ	○	○		○				
		ｲﾎﾞﾊﾞｯﾀ						○		
	ﾋｼﾊﾞｯﾀ	ｺﾊﾞﾈﾋｼﾊﾞｯﾀ	○		○					
		ﾊﾗﾋｼﾊﾞｯﾀ	○	○	○			○		
ﾅﾅﾌｼ	ﾅﾅﾌｼ	ｴﾀﾞﾅﾅﾌｼ		○	○					
		ﾔｽﾏﾂﾄﾋﾞﾅﾅﾌｼ		○						
		ﾅﾅﾌｼﾓﾄﾞｷ	○	○	○					
ﾊｻﾐﾑｼ	ﾊｻﾐﾑｼ	ﾊｻﾐﾑｼ科の一種					○			
ｶﾒﾑｼ	ｳﾝｶ	ｺﾌﾞｳﾝｶ						○		
	ﾊﾈﾅｶﾞｳﾝｶ	ｱｶﾊﾈﾅｶﾞｳﾝｶ					○			
		ﾏｴｸﾞﾛﾊﾈﾅｶﾞｳﾝｶ			○				情報不足	
		ｷｽｼﾞﾊﾈﾋﾞﾛｳﾝｶ			○					
	ｺｶﾞｼﾗｳﾝｶ	ｳﾁﾜｺｶﾞｼﾗｳﾝｶ			○					
	ｱｵﾊﾞﾊｺﾞﾛﾓ	ｱｵﾊﾞﾊｺﾞﾛﾓ	○	○	○	○	○			
	ﾊｺﾞﾛﾓ	ｽｹﾊﾞﾊｺﾞﾛﾓ	○	○	○		○	○		
		ﾍﾞｯｺｳﾊｺﾞﾛﾓ	○	○	○	○	○	○		
		ｱﾐｶﾞｻﾊｺﾞﾛﾓ	○	○	○					
	ｾﾐ	ｱﾌﾞﾗｾﾞﾐ	○	○	○	○	○			
		ﾂｸﾂｸﾎﾞｳｼ	○	○	○	○	○	○		
		ﾐﾝﾐﾝｾﾞﾐ			○	○				
		ﾆｲﾆｲｾﾞﾐ	○	○	○	○	○			
		ﾋｸﾞﾗｼ	○	○	○					
	ｱﾜﾌｷﾑｼ	ｼﾛｵﾋﾞｱﾜﾌｷ				○				
		ﾊﾏﾍﾞｱﾜﾌｷ				○				
		ﾎｼｱﾜﾌｷ				○				
		ﾏﾙｱﾜﾌｷ				○				
	ﾂﾉｾﾞﾐ	ﾄﾋﾞｲﾛﾂﾉｾﾞﾐ			○	○				
	ｸﾛﾋﾗﾀﾖｺﾊﾞｲ	ｸﾛﾋﾗﾀﾖｺﾊﾞｲ				○				
	ｵｵﾖｺﾊﾞｲ	ﾂﾏｸﾞﾛｵｵﾖｺﾊﾞｲ	○	○	○	○				
		ｵｵﾖｺﾊﾞｲ	○	○	○	○	○	○		
		ﾏｴｼﾞﾛｵｵﾖｺﾊﾞｲ	○		○					
	ﾋﾒﾖｺﾊﾞｲ	ｵﾋﾞﾋﾒﾖｺﾊﾞｲ	○		○					
	ﾖｺﾊﾞｲ	ﾋｼﾓﾝﾖｺﾊﾞｲ	○							
		ﾄｶﾞﾘﾖｺﾊﾞｲ						○		
		ﾂﾏｸﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ			○		○	○		
		ﾏｴｼﾞﾛﾖｺﾊﾞｲ	○							
	ｷｼﾞﾗﾐ	ｷｼﾞﾗﾐの一種	○							
	ｱﾒﾝﾎﾞ	ﾋﾒｱﾒﾝﾎﾞ	○	○	○					
		ｱﾒﾝﾎﾞ	○			○	○	○		
	ﾏﾂﾓﾑｼ	ﾏﾂﾓﾑｼ		○						
	ﾒｸﾗｶﾒﾑｼ	ﾅｶﾞｸﾞﾛﾒｸﾗｶﾞﾒ		○						
		ﾂﾔｸﾛﾒｸﾗｶﾞﾒ	○							
		ﾒﾝｶﾞﾀﾒｸﾗｶﾞﾒ			○					
		ｱｶｽｼﾞﾒｸﾗｶﾞﾒ						○		
		ｸﾛﾏﾙﾒｸﾗｶﾞﾒ	○							
	ﾏｷﾊﾞｻｼｶﾞﾒ	ｺﾊﾞﾈﾏｷﾊﾞｻｼｶﾞﾒ	○							
	ｸﾞﾝﾊﾞｲﾑｼ	ｷｸｸﾞﾝﾊﾞｲ						○		
	ｻｼｶﾞﾒ	ｱｶｻｼｶﾞﾒ	○		○					
		ｼﾏｻｼｶﾞﾒ	○							

目名	科名	和名	調査地点						注目種	
			1	2	3	4	5	6	栃木県RL	環境省RL
カメムシ	サシガメ	ヤニサシガメ			○					
		アカシマサシガメ		○						
		クロモンサシガメ		○	○					
	ナガカメムシ	コバネナガカメムシ		○		○	○			
		ホソコバネナガカメムシ	○		○					
		ヒメオオメカメムシ					○			
		オオメカメムシ	○		○					
		ヒゲナガカメムシ		○		○				
		キベリヒョウタンナガカメムシ		○						
		コバネヒョウタンナガカメムシ	○	○	○	○	○			
	メダカナガカメムシ	メダカナガカメムシ	○							
	オオホシカメムシ	ヒメホシカメムシ	○							
	ホソヘリカメムシ	クモヘリカメムシ	○	○	○	○	○	○		
		ホソヘリカメムシ		○						
	ヘリカメムシ	ホオズキカメムシ	○	○		○	○			
		オオクモヘリカメムシ			○					
		ホソハリカメムシ	○	○	○	○	○	○		
		ハリカメムシ	○	○	○		○			
		ハラビロヘリカメムシ	○	○	○	○	○			
		ホシハラビロヘリカメムシ	○	○	○	○	○	○		
		オオツマキヘリカメムシ			○					
	ヒメヘリカメムシ	スカシヒメヘリカメムシ					○			
		アカヒメヘリカメムシ		○	○	○		○		
		ケブカヒメヘリカメムシ	○							
		ブチヒゲヘリカメムシ	○	○	○	○				
	マルカメムシ	マルカメムシ	○	○	○	○				
	ツチカメムシ	ヒメツヤツチカメムシ					○			
	カメムシ	オオクロカメムシ				○				
		ウズラカメムシ	○	○						
		ブチヒゲカメムシ	○							
		トゲシラホシカメムシ	○	○	○					
		マルシラホシカメムシ	○		○					
		オオトゲシラホシカメムシ		○	○					
		クサギカメムシ			○					
		ツマジロカメムシ	○	○	○					
		アオクサカメムシ	○							
		チャバネアオカメムシ			○			○		
	ツノカメムシ	セアカツノカメムシ	○							
		エサキモンキツノカメムシ		○						
アミメカゲロウ	ヘビトンボ	ヘビトンボ科の一種				○				
	クサカゲロウ	ニッポンクサカゲロウ					○	○		
	ツノトンボ	キバネツノトンボ	○	○					要注目	
コウチュウ	ナガヒラタムシ	ナガヒラタムシ			○					
	ハンミョウ	ハンミョウ		○					C	
		アイヌハンミョウ				○			C	
		トウキョウヒメハンミョウ	○							
		コニワハンミョウ				○				
	オサムシ	クロオサムシ	○	○	○					
		ヨツボシミズギワゴミムシ				○				
		ハラアカモリヒラタゴミムシ			○					
		ルリヒラタゴミムシ	○							
		セアカヒラタゴミムシ		○						
		マルガタツヤヒラタゴミムシ		○						
		マルガタゴミムシ	○	○						
		コアオマルガタゴミムシ				○				
		コマルガタゴミムシ	○							
		オオホシボシゴミムシ	○		○		○	○		
		ゴミムシ		○						
		オオズケゴモクムシ	○							
		ウスアカクロゴモクムシ				○				
		ムネアカマメゴモクムシ		○						

目名	科名	和名	調査地点						注目種	
			1	2	3	4	5	6	栃木県RL	環境省RL
ｺｳﾁｭｳ	ｵｻﾑｼ	ｱｶｶﾞﾈｱｵｺﾞﾐﾑｼ			○					
		ﾋﾒｷﾍﾞﾘｱｵｺﾞﾐﾑｼ				○				
		ｱﾄﾎﾞｼｱｵｺﾞﾐﾑｼ	○							
		ｷﾎﾞｼｱｵｺﾞﾐﾑｼ			○					
		ｵｵｷﾍﾞﾘｱｵｺﾞﾐﾑｼ			○					
		ｵｵﾋﾗﾀﾄｯｸﾘｺﾞﾐﾑｼ		○					A	
		ｱｵｱﾄｷﾘｺﾞﾐﾑｼ		○						
		ﾎｿｱﾄｷﾘｺﾞﾐﾑｼ	○							
		ｺﾙﾘｱﾄｷﾘｺﾞﾐﾑｼ		○			○			
		ｸﾛﾍﾘｱﾄｷﾘｺﾞﾐﾑｼ		○	○					
	ｹﾞﾝｺﾞﾛｳ	ﾋﾒｼﾏﾁﾋﾞｹﾞﾝｺﾞﾛｳ				○				
		ﾎｿｾｽｼﾞｹﾞﾝｺﾞﾛｳ		○						
		ﾓﾝｷﾏﾒｹﾞﾝｺﾞﾛｳ				○				
		ﾋﾒｹﾞﾝｺﾞﾛｳ		○						
		ｸﾛｹﾞﾝｺﾞﾛｳ				○				
		ﾊｲｲﾛｹﾞﾝｺﾞﾛｳ		○						
		ｼﾏｹﾞﾝｺﾞﾛｳ		○						
		ｺｼﾏｹﾞﾝｺﾞﾛｳ		○						
	ｶﾞﾑｼ	ｷﾍﾞﾘﾋﾗﾀｶﾞﾑｼ		○						
		ｺｶﾞﾑｼ		○						
		ｶﾞﾑｼ		○					要注目	
		ﾋﾒｶﾞﾑｼ		○						
		ﾄｹﾞﾊﾞｺﾞﾏﾌｶﾞﾑｼ		○						
		ｺﾞﾏﾌｶﾞﾑｼ		○						
	ｴﾝﾏﾑｼ	ｺｴﾝﾏﾑｼ	○							
	ｼﾃﾞﾑｼ	ｵｵﾋﾗﾀｼﾃﾞﾑｼ	○	○	○					
	ﾊﾈｶｸｼ	ｱｼﾏﾀﾞﾗﾒﾀﾞｶﾊﾈｶｸｼ		○						
		ﾊｲｲﾛﾊﾈｶｸｼ		○						
		ﾅﾐｸｼﾋｹﾞﾊﾈｶｸｼ	○							
	ﾃﾞｵｷﾉｺﾑｼ	ｴｸﾞﾘﾃﾞｵｷﾉｺﾑｼ				○				
		ｶﾒﾉｺﾃﾞｵｷﾉｺﾑｼ	○							
	ﾏﾙﾊﾅﾉﾐ	ﾄﾋﾞｲﾛﾏﾙﾊﾅﾉﾐ	○		○	○	○			
	ｸﾜｶﾞﾀﾑｼ	ﾐﾔﾏｸﾜｶﾞﾀ			○					
		ｺｸﾜｶﾞﾀ	○		○					
		ｽｼﾞｸﾜｶﾞﾀ	○		○					
		ﾉｺｷﾞﾘｸﾜｶﾞﾀ	○							
	ｺｶﾞﾈﾑｼ	ﾋｹﾞﾌﾞﾄﾊﾅﾑｸﾞﾘ	○		○					
		ｱｼﾅｶﾞｺｶﾞﾈ				○				
		ﾋﾒﾋﾞﾛｳﾄﾞｺｶﾞﾈ	○		○	○	○	○		
		ﾏﾙｶﾞﾀﾋﾞﾛｳﾄﾞｺｶﾞﾈ			○					
		ｺｲﾁｬｺｶﾞﾈ	○	○	○		○			
		ｻｸﾗｺｶﾞﾈ		○		○				
		ﾋﾗﾀｱｵｺｶﾞﾈ		○		○				
		ﾋﾒｺｶﾞﾈ			○					
		ｶﾀﾓﾝｺｶﾞﾈ				○				
		ｺｶﾞﾈﾑｼ				○		○		
		ｳｽﾁｬｺｶﾞﾈ				○				
		ﾏﾒｺｶﾞﾈ	○	○	○		○	○		
		ﾋﾗﾀﾊﾅﾑｸﾞﾘ	○	○	○	○				
		ﾋﾒﾄﾗﾊﾅﾑｸﾞﾘ	○							
		ｱｵﾊﾅﾑｸﾞﾘ			○					
		ｸﾛﾊﾅﾑｸﾞﾘ			○					
		ｺｱｵﾊﾅﾑｸﾞﾘ	○	○	○	○	○	○		
		ｼﾛﾃﾝﾊﾅﾑｸﾞﾘ		○	○		○			
		ｶﾅﾌﾞﾝ	○		○					
		ｸﾛｶﾅﾌﾞﾝ	○							
		ｶﾌﾞﾄﾑｼ	○		○					
	ﾅｶﾞﾊﾅﾉﾐ	ﾋｹﾞﾅｶﾞﾊﾅﾉﾐ	○	○						
	ﾋﾗﾀﾄﾞﾛﾑｼ	ﾁﾋﾞﾋｹﾞﾅｶﾞﾊﾅﾉﾐ						○		
		ｸｼﾋｹﾞﾏﾙﾋﾗﾀﾄﾞﾛﾑｼ				○				
	ﾀﾏﾑｼ	ﾋｼﾓﾝﾅｶﾞﾀﾏﾑｼ				○				

目名	科名	和名	調査地点						注目種	
			1	2	3	4	5	6	栃木県RL	環境省RL
ｺｳﾁｭｳ	ﾀﾏﾑｼ	ｼﾛｵﾋﾞﾅｶﾎﾞｿﾀﾏﾑｼ		○	○					
		ﾋﾗﾀﾁﾋﾞﾀﾏﾑｼ	○							
		ｸｽﾞﾉﾁﾋﾞﾀﾏﾑｼ	○		○					
		ｺｳｿﾞﾁﾋﾞﾀﾏﾑｼ	○		○					
	ｺﾒﾂｷﾑｼ	ﾋｹﾞｺﾒﾂｷ			○					
		ｻﾋﾞｷｺﾘ	○	○	○	○	○	○		
		ﾑﾅﾋﾞﾛｻﾋﾞｷｺﾘ	○		○					
		ﾎｿｻﾋﾞｷｺﾘ	○			○		○		
		ｼﾓﾌﾘｺﾒﾂｷ	○	○						
		ｵｵﾅｶﾞｺﾒﾂｷ	○				○			
		ｸｼｺﾒﾂｷ	○							
		ｸｼｺﾒﾂｷ属の一種					○	○		
		ｷｱｼﾐｽﾞｷﾞﾜｺﾒﾂｷ				○				
		ｸﾛｺﾊﾅｺﾒﾂｷ	○		○	○				
		ｵｵﾊﾅｺﾒﾂｷ	○		○					
		ﾅｶﾞﾋｹﾞﾌﾞﾄｺﾒﾂｷ			○					
		ｺﾒﾂｷﾑｼ科の一種	○		○					
	ｺﾒﾂｷﾀﾞﾏｼ	ｵﾆｺﾒﾂｷﾀﾞﾏｼ				○				
		ｱｲﾇﾂﾔﾋﾒｺﾒﾂｷﾀﾞﾏｼ				○				
	ﾎﾀﾙ	ｵﾊﾞﾎﾞﾀﾙ				○		○		
	ｼﾞｮｳｶｲﾎﾞﾝ	ｸﾛｼﾞｮｳｶｲ	○		○	○				
		ｼﾞｮｳｶｲﾎﾞﾝ		○	○	○	○			
		ｾﾎﾞｼｼﾞｮｳｶｲ	○	○	○		○			
		ｳｽｲﾛｸﾋﾞﾎﾞｿｼﾞｮｳｶｲ	○	○						
		ﾋｶﾞｼﾏﾙﾑﾈｼﾞｮｳｶｲ	○	○	○					
		ｱｵｼﾞｮｳｶｲ			○					
		ｷｲﾛｼﾞｮｳｶｲ		○					C	
		ｷﾍﾞﾘｺﾊﾞﾈｼﾞｮｳｶｲ				○				
	ｶﾂｵﾌﾞｼﾑｼ	ｶﾂｵﾌﾞｼﾑｼ科の一種				○				
	ｼﾞｮｳｶｲﾓﾄﾞｷ	ﾂﾏｷｱｵｼﾞｮｳｶｲﾓﾄﾞｷ	○	○	○					
	ｹｼｷｽｲ	ｸﾛﾊﾅｹｼｷｽｲ	○	○			○	○		
		ｸﾛﾓﾝﾑｸｹﾞｹｼｷｽｲ				○	○			
		ｷｲﾛｾﾏﾙｹｼｷｽｲ			○					
		ﾖﾂﾎﾞｼｹｼｷｽｲ	○							
	ﾎｿﾋﾗﾀﾑｼ	ﾐﾂﾓﾝｾﾏﾙﾋﾗﾀﾑｼ			○					
	ｵｵｷｽｲﾑｼ	ﾖﾂﾎﾞｼｵｵｷｽｲ				○				
	ｷｽｲﾓﾄﾞｷ	ｷｽｲﾓﾄﾞｷ			○		○			
	ﾑｸｹﾞｷｽｲﾑｼ	ｹﾏﾀﾞﾗﾑｸｹﾞｷｽｲ		○						
	ｺﾒﾂｷﾓﾄﾞｷ	ﾂﾏｸﾞﾛﾋﾒｺﾒﾂｷﾓﾄﾞｷ		○						
	ｵｵｷﾉｺﾑｼ	ｱｶﾊﾊﾞﾋﾞﾛｵｵｷﾉｺ	○							
		ﾋﾒｵﾋﾞｵｵｷﾉｺ				○				
	ﾃﾝﾄｳﾑｼﾀﾞﾏｼ	ﾖﾂﾎﾞｼﾃﾝﾄｳﾀﾞﾏｼ	○	○						
	ﾃﾝﾄｳﾑｼ	ﾊﾚﾔﾋﾒﾃﾝﾄｳ	○	○	○					
		ｸﾛﾍﾘﾋﾒﾃﾝﾄｳ	○	○	○		○	○		
		ｶｸﾞﾔﾋﾒﾃﾝﾄｳ					○			
		ﾋﾒｱｶﾎｼﾃﾝﾄｳ		○	○					
		ﾅﾅﾎｼﾃﾝﾄｳ	○	○	○	○	○	○		
		ﾅﾐﾃﾝﾄｳ	○	○	○		○			
		ｳｽｷﾎｼﾃﾝﾄｳ	○							
		ﾋﾒｶﾒﾉｺﾃﾝﾄｳ	○	○	○	○		○		
		ｺｶﾒﾉｺﾃﾝﾄｳ	○							
		ｵｵﾆｼﾞｭｳﾔﾎｼﾃﾝﾄｳ	○	○	○					
	ﾋﾒﾏｷﾑｼ	ｳｽﾁｬｹｼﾏｷﾑｼ						○		
	ﾊﾅﾉﾐ	ｸﾛﾋﾒﾊﾅﾉﾐ	○	○		○				
	ｸﾋﾞﾅｶﾞﾑｼ	ｸﾋﾞｶｸｼﾅｶﾞｸﾁｷﾑｼ		○						
	ｶﾐｷﾘﾓﾄﾞｷ	ﾓﾓﾌﾟﾄｶﾐｷﾘﾓﾄﾞｷ	○	○	○					
		ｱｵｶﾐｷﾘﾓﾄﾞｷ			○					
	ｱﾘﾓﾄﾞｷ	ｷｱｼｸﾋﾞﾎﾞｿﾑｼ	○							
		ｱｶﾎｿｱﾘﾓﾄﾞｷ	○							
		ﾖﾂﾎﾞｼﾎｿｱﾘﾓﾄﾞｷ	○					○		
	ﾂﾁﾊﾝﾐｮｳ	ﾏﾒﾊﾝﾐｮｳ		○						

目名	科名	和名	調査地点						注目種	
			1	2	3	4	5	6	栃木県RL	環境省RL
ｺｳﾁｭｳ	ｸﾁｷﾑｼ	ｱｶﾊﾞﾈﾂﾔｸﾁｷﾑｼ	○							
	ｺﾞﾐﾑｼﾀﾞﾏｼ	ｶﾌﾞﾄｺﾞﾐﾑｼﾀﾞﾏｼ			○					
		ﾅｶﾞﾆｼﾞｺﾞﾐﾑｼﾀﾞﾏｼ			○					
		ﾍﾞﾆﾓﾝｷﾉｺｺﾞﾐﾑｼﾀﾞﾏｼ			○					
		ｷﾏﾜﾘ	○	○						
	ｶﾐｷﾘﾑｼ	ｳｽﾊﾞｶﾐｷﾘ			○					
		ﾉｺｷﾞﾘｶﾐｷﾘ	○							
		ﾂﾔｹｼﾊﾅｶﾐｷﾘ		○	○	○				
		ｱｶﾊﾅｶﾐｷﾘ	○		○					
		ﾋﾅﾙﾘﾊﾅｶﾐｷﾘ		○						
		ﾐﾔﾏﾙﾘﾊﾅｶﾐｷﾘ		○						
		ﾂﾏｸﾞﾛﾊﾅｶﾐｷﾘ	○		○					
		ﾌﾀｺﾌﾞﾙﾘﾊﾅｶﾐｷﾘ				○				
		ﾖﾂﾎﾞｼｶﾐｷﾘ	○						B	絶滅危惧Ⅱ類
		ｴｸﾞﾘﾄﾗｶﾐｷﾘ				○				
		ﾄｹﾞﾋｹﾞﾄﾗｶﾐｷﾘ		○	○					
		ﾋﾒｸﾛﾄﾗｶﾐｷﾘ		○	○	○				
		ﾍﾞﾆｶﾐｷﾘ	○		○			○		
		ﾅｶﾞｺﾞﾏﾌｶﾐｷﾘ		○						
		ｺﾞﾏﾌｶﾐｷﾘ				○				
		ﾊｲｲﾛﾔﾊｽﾞｶﾐｷﾘ			○					
		ｱﾄﾓﾝｻﾋﾞｶﾐｷﾘ					○			
		ｱﾄｼﾞﾛｻﾋﾞｶﾐｷﾘ	○							
		ﾋﾒﾋｹﾞﾅｶﾞｶﾐｷﾘ		○						
		ｸﾜｶﾐｷﾘ				○				
		ﾋﾄｵﾋﾞｱﾗｹﾞｶﾐｷﾘ				○				
		ｼﾗﾎｼｶﾐｷﾘ	○							
		ｷｸｽｲｶﾐｷﾘ				○	○	○		
	ﾊﾑｼ	ﾄｹﾞｱｼｸﾋﾞﾎﾞｿﾊﾑｼ		○						
		ﾄﾎｼｸﾋﾞﾎﾞｿﾊﾑｼ					○			
		ｱｶｸﾋﾞﾎﾞｿﾊﾑｼ	○		○			○		
		ﾔﾏｲﾓﾊﾑｼ	○							
		ｱｶｸﾋﾞﾅｶﾞﾊﾑｼ		○						
		ｱﾜｸﾋﾞﾎﾞｿﾊﾑｼ	○					○		
		ﾑｷﾞｸﾋﾞﾎﾞｿﾊﾑｼ		○						
		ｲﾈｸﾋﾞﾎﾞｿﾊﾑｼ		○			○	○		
		ｸﾋﾞﾎﾞｿﾊﾑｼ亜科の一種					○			
		ﾖﾂﾎﾞｼｱｶﾂﾂﾊﾑｼ				○			C	
		ｷﾎﾞｼﾙﾘﾊﾑｼ	○							
		ﾊﾞﾗﾙﾘﾂﾂﾊﾑｼ				○		○		
		ｷｱｼﾙﾘﾂﾂﾊﾑｼ	○							
		ﾔﾂﾎﾞｼﾂﾂﾊﾑｼ	○			○				
		ｺﾔﾂﾎﾞｼﾂﾂﾊﾑｼ				○				
		ﾄﾞｳｶﾞﾈﾂﾔﾊﾑｼ	○		○					
		ﾏﾀﾞﾗｱﾗｹﾞｻﾙﾊﾑｼ		○						
		ﾄﾞｳｶﾞﾈｻﾙﾊﾑｼ		○						
		ｻﾙﾊﾑｼ亜科の一種			○					
		ﾔﾅｷﾞﾙﾘﾊﾑｼ				○				
		ﾖﾓｷﾞﾊﾑｼ		○				○		
		ｺｶﾞﾀﾙﾘﾊﾑｼ						○		
		ﾌｼﾞﾊﾑｼ						○		
		ﾑﾅｸﾞﾛﾂﾔﾊﾑｼ	○		○	○				
		ｳﾘﾊﾑｼ	○	○	○	○	○	○		
		ｸﾛｳﾘﾊﾑｼ	○	○	○	○				
		ｸﾜﾊﾑｼ		○		○	○			
		ｱｻﾞﾐｵｵﾊﾑｼ						○		
		ｲﾁｺﾞﾊﾑｼ		○						
		ｹﾌﾞｶｸﾛﾅｶﾞﾊﾑｼ				○				
		ﾎﾀﾙﾊﾑｼ	○			○	○			
		ｱﾄﾎﾞｼﾊﾑｼ	○		○					
		ﾖﾂﾎﾞｼﾊﾑｼ	○		○			○		

目名	科名	和名	調査地点						注目種	
			1	2	3	4	5	6	栃木県RL	環境省RL
ｺｳﾁｭｳ	ﾊﾑｼ	ｻﾝｺﾞｼﾞｭﾊﾑｼ	○							
		ｽｼﾞｶﾐﾅﾘﾊﾑｼ					○	○		
		Altica属の一種				○		○		
		ﾂﾌﾞﾉﾐﾊﾑｼ	○		○	○				
		ﾌﾀｲﾛﾋｻｺﾞﾄﾋﾞﾊﾑｼ		○						
		ﾋｻｺﾞﾄﾋﾞﾊﾑｼ		○			○			
		ﾋｹﾞﾅｶﾞﾙﾘﾏﾙﾉﾐﾊﾑｼ			○					
		ﾙﾘﾏﾙﾉﾐﾊﾑｼ	○	○	○	○				
		ﾀﾏｱｼﾄﾋﾞﾊﾑｼ	○							
		ﾁｬﾊﾞﾈﾂﾔﾊﾑｼ		○						
		ｷｽｼﾞﾉﾐﾊﾑｼ	○				○	○		
		ｸﾋﾞﾎﾞｿﾄﾋﾞﾊﾑｼ		○						
		ﾅｽﾅｶﾞｽﾈﾄﾋﾞﾊﾑｼ		○			○			
		ﾀﾞｲｺﾝﾅｶﾞｽﾈﾄﾋﾞﾊﾑｼ				○	○			
		ﾉﾐﾊﾑｼ亜科の一種	○	○				○		
		ｼﾞﾝｶﾞｻﾊﾑｼ					○			
		ｶﾒﾉｺﾊﾑｼ		○						
		ｲﾁﾓﾝｼﾞｶﾒﾉｺﾊﾑｼ	○							
		ﾌﾞﾀｸｻﾊﾑｼ				○				
	ｵﾄｼﾌﾞﾐ	ﾋﾒｸﾛｵﾄｼﾌﾞﾐ	○		○		○			
		ｳｽｱｶｵﾄｼﾌﾞﾐ	○	○						
		ｴｺﾞﾂﾙｸﾋﾞｵﾄｼﾌﾞﾐ	○							
		ｺﾞﾏﾀﾞﾗｵﾄｼﾌﾞﾐ	○							
		ｶｼﾙﾘｵﾄｼﾌﾞﾐ			○					
		ﾌﾞﾄﾞｳﾊﾏｷﾁｮｯｷﾘ	○							
		ﾙﾘｲｸﾋﾞﾁｮｯｷﾘ		○						
	ﾎｿｸﾁｿﾞｳﾑｼ	ﾋｹﾞﾅｶﾞﾎｿｸﾁｿﾞｳﾑｼ			○					
	ｿﾞｳﾑｼ	ｶｼﾜｸﾁﾌﾞﾄｿﾞｳﾑｼ			○	○				
		ｼﾛｺﾌﾞｿﾞｳﾑｼ	○	○						
		ｸﾁﾌﾞﾄｿﾞｳﾑｼ亜科の一種			○					
		ｺﾌｷｿﾞｳﾑｼ	○	○		○	○	○		
		ﾊｽｼﾞｶﾂｵｿﾞｳﾑｼ		○						
		ｶﾂｵｿﾞｳﾑｼ				○	○			
		ｵﾅｶﾞｶﾂｵｿﾞｳﾑｼ		○					C	
		ｵｼﾞﾛｱｼﾅｶﾞｿﾞｳﾑｼ		○	○		○	○		
		ｲﾈﾐｽﾞｿﾞｳﾑｼ	○			○	○			
		ｴｺﾞｼｷﾞｿﾞｳﾑｼ	○		○	○				
		ｽｹﾞﾋﾒｿﾞｳﾑｼ		○					要注目	
		ｽｹﾞﾉﾊﾗｼﾞﾛﾋﾒｿﾞｳﾑｼ		○					C	
		ｱｵﾊﾞﾈｻﾙｿﾞｳﾑｼ		○			○			
		ﾄｹﾞﾊﾗﾋﾗｾｸﾓｿﾞｳﾑｼ	○							
		ﾂﾂｿﾞｳﾑｼ			○					
	ｵｻｿﾞｳﾑｼ	ｵｵｿﾞｳﾑｼ			○	○				
		ﾄﾎｼｵｻｿﾞｳﾑｼ		○						
ﾊﾁ	ﾐﾌｼﾊﾊﾞﾁ	ｼﾘｸﾞﾛﾁｭｳﾚﾝｼﾞ	○		○					
		ﾆﾎﾝﾁｭｳﾚﾝｼﾞ		○						
		ﾙﾘﾁｭｳﾚﾝｼﾞ	○	○	○					
	ﾊﾊﾞﾁ	ｾｸﾞﾛｶﾌﾞﾗﾊﾊﾞﾁ		○	○	○	○			
		ﾆﾎﾝｶﾌﾞﾗﾊﾊﾞﾁ		○	○					
		ｶﾌﾞﾗﾊﾊﾞﾁ			○		○			
		ｸｼﾋｹﾞﾊﾊﾞﾁ						○		
		ｵｽｸﾞﾛﾊﾊﾞﾁ		○		○	○			
		ﾋｹﾞﾅｶﾞﾊﾊﾞﾁ	○		○					
		ｵｵｺｼｱｶﾊﾊﾞﾁ		○						
		ﾊﾊﾞﾁ科の一種	○	○		○				
	ｷﾊﾞﾁ	ｷﾊﾞﾁ科の一種				○				
	ｺﾏﾕﾊﾞﾁ	ｺﾏﾕﾊﾞﾁ科の一種	○	○			○	○		
	ﾋﾒﾊﾞﾁ	ｱｹﾞﾊﾋﾒﾊﾞﾁ	○							
		ﾋﾒﾊﾞﾁ科の一種	○	○	○		○	○		
	ﾊｴﾔﾄﾞﾘｸﾛﾊﾞﾁ	ﾊｴﾔﾄﾞﾘｸﾛﾊﾞﾁ科の一種	○				○			
	ｶｷﾞﾊﾞﾗﾊﾞﾁ	ｼﾘﾎﾞｿｸﾛﾊﾞﾁ科の一種			○					

目名	科名	和名	調査地点						注目種	
			1	2	3	4	5	6	栃木県RL	環境省RL
ハチ	ｱｼﾌﾞﾄｺﾊﾞﾁ	ｷｱｼﾌﾞﾄｺﾊﾞﾁ						○		
	ｾｲﾎﾞｳ	ﾘﾝﾈｾｲﾎﾞｳ				○				
		ﾑﾂﾊﾞｾｲﾎﾞｳ				○				
		ｶﾏﾊﾞﾁ科の一種			○			○		
	ｱﾘｶﾞﾀﾊﾞﾁ	ｱﾘｶﾞﾀﾊﾞﾁ科の一種	○				○			
	ｱﾘﾊﾞﾁ	ﾑﾈｱｶｱﾘﾊﾞﾁ	○							
		ﾙｲｽﾋﾄﾎｼｱﾘﾊﾞﾁ					○			
	ﾂﾁﾊﾞﾁ	ｺﾓﾝﾂﾁﾊﾞﾁ			○					
		ﾋﾒﾊﾗﾅｶﾞﾂﾁﾊﾞﾁ		○	○	○	○	○		
		ｵｵﾊﾗﾅｶﾞﾂﾁﾊﾞﾁ		○						
		ｷﾝｹﾊﾗﾅｶﾞﾂﾁﾊﾞﾁ			○		○			
		ﾊﾗﾅｶﾞﾂﾁﾊﾞﾁ		○	○					
	ｱﾘ	ﾃﾗﾆｼｼﾘｱｹﾞｱﾘ	○							
		ﾊﾘﾌﾞﾄｼﾘｱｹﾞｱﾘ				○				
		ｷｲﾛｼﾘｱｹﾞｱﾘ			○					
		ﾑﾈﾎﾞｿｱﾘ	○	○			○			
		ｼﾜｸｼｹｱﾘ	○	○						
		ｱｽﾞﾏｵｵｽﾞｱﾘ			○					
		ｱﾐﾒｱﾘ	○	○	○		○	○		
		ｸﾛｵｵｱﾘ		○						
		ﾑﾈｱｶｵｵｱﾘ	○	○	○					
		ｸﾛﾔﾏｱﾘ	○	○	○	○	○	○		
		ﾄﾋﾞｲﾛｹｱﾘ	○	○	○	○	○	○		
		ｱﾒｲﾛｱﾘ		○	○					
		ﾄｹﾞｱﾘ	○	○	○					
	ﾍﾞｯｺｳﾊﾞﾁ	ｵｵﾓﾝｸﾛﾍﾞｯｺｳ	○	○	○		○	○		
		ｵｵｼﾛﾌﾍﾞｯｺｳ		○		○				
		ﾍﾞｯｺｳﾊﾞﾁ科の一種						○		
	ﾄﾞﾛﾊﾞﾁ	ｵｵﾌﾀｵﾋﾞﾄﾞﾛﾊﾞﾁ			○					
		ｷﾎﾞｼﾄｯｸﾘﾊﾞﾁ		○						
		ﾐｶﾄﾞﾄｯｸﾘﾊﾞﾁ		○	○					
		ｷｱｼﾄｯｸﾘﾊﾞﾁ		○		○				
		ﾐｶﾄﾞﾄﾞﾛﾊﾞﾁ				○				
		ﾆｾﾐｶﾄﾞﾄﾞﾛﾊﾞﾁ					○			
		ｽｽﾞﾊﾞﾁ				○		○		
		ｶﾀｸﾞﾛﾁﾋﾞﾄﾞﾛﾊﾞﾁ		○			○			
		ﾌﾄｸﾛﾁﾋﾞﾄﾞﾛﾊﾞﾁ						○		
	ｽｽﾞﾒﾊﾞﾁ	ﾑﾓﾝﾎｿｱｼﾅｶﾞﾊﾞﾁ	○	○	○	○				
		ﾄｳﾖｳﾎｿｱｼﾅｶﾞﾊﾞﾁ			○					
		ﾌﾀﾓﾝｱｼﾅｶﾞﾊﾞﾁ		○		○		○		
		ｾｸﾞﾛｱｼﾅｶﾞﾊﾞﾁ	○	○	○					
		ｷﾎﾞｼｱｼﾅｶﾞﾊﾞﾁ	○	○	○	○	○	○		
		ｷｱｼﾅｶﾞﾊﾞﾁ			○					
		ｺｱｼﾅｶﾞﾊﾞﾁ	○	○	○		○			
		ｺｶﾞﾀｽｽﾞﾒﾊﾞﾁ	○	○	○		○	○		
		ｵｵｽｽﾞﾒﾊﾞﾁ	○	○	○					
		ｷｲﾛｽｽﾞﾒﾊﾞﾁ	○	○	○		○	○		
		ﾋﾒｽｽﾞﾒﾊﾞﾁ	○	○						
		ｽｽﾞﾒﾊﾞﾁ科の一種	○	○						
	ｱﾅﾊﾞﾁ	ﾔﾏｼﾞｶﾞﾊﾞﾁ	○							
		ｻﾄｼﾞｶﾞﾊﾞﾁ		○		○	○			
		ｷｱｼﾏｴﾀﾞﾃ					○			
		ｼﾛｽｼﾞｷﾞﾝｸﾞﾁ			○					
	ﾑｶｼﾊﾅﾊﾞﾁ	ｱｼﾌﾞﾄﾑｶｼﾊﾅﾊﾞﾁ	○	○	○		○			
		ｵｵﾑｶｼﾊﾅﾊﾞﾁ			○					
	ｺﾊﾅﾊﾞﾁ	ｱｶｶﾞﾈｺﾊﾅﾊﾞﾁ	○	○	○	○	○	○		
		ｻﾋﾞｲﾛｶﾀｺﾊﾅﾊﾞﾁ			○					
		ｼﾛｽｼﾞｶﾀｺﾊﾅﾊﾞﾁ	○	○	○					
		ﾌﾀﾓﾝｶﾀｺﾊﾅﾊﾞﾁ	○	○						
		Sphecodes sp.					○			
	ﾋﾒﾊﾅﾊﾞﾁ	Andrena属の一種					○			

目名	科名	和名	調査地点						注目種	
			1	2	3	4	5	6	栃木県RL	環境省RL
ハチ	ハキリバチ	トガリハナバチ			○	○				
		ヤノトガリハナバチ		○						
		バラハキリバチモドキ		○	○					
	コシブトハナバチ	キンランキマダラハナバチ			○					
		ダイミョウキマダラハナバチ	○							
		ヤマトシロスジヤドリハナバチ	○							
		シロスジヒゲナガハナバチ			○	○				
		ミツクリヒゲナガハナバチ			○					
		キオビツヤハナバチ		○			○			
		ヤマトツヤハナバチ	○							
		クマバチ	○	○		○				
	ミツバチ	トラマルハナバチ	○	○	○	○	○			
		コマルハナバチ	○	○	○					
		ニホンミツバチ	○	○	○		○			
		セイヨウミツバチ		○			○	○		
シリアゲムシ	シリアゲムシ	ヤマトシリアゲ	○							
ハエ	ガガンボ	キイロホソガガンボ						○		
	アブ	ウシアブ			○					
	ムシヒキアブ	オオイシアブ	○	○	○					
		チャイロオオイシアブ			○					
		アオメアブ	○	○	○			○		
		シオヤアブ	○		○					
		チャイロムシヒキ	○		○	○				
		マガリケムシヒキ	○							
	ハナアブ	ホソヒラタアブ	○	○	○					
		ナガヒメヒラタアブ					○	○		
		ヒメヒラタアブ	○	○						
		ホソツヤヒラタアブ	○	○			○	○		
		ホシツヤヒラタアブ			○			○		
		シロスジベッコウハナアブ			○					
		ホシメハナアブ		○						
		シマハナアブ	○	○	○					
		キョウコシマハナアブ			○					
		ハナアブ	○	○	○		○			
		アシブトハナアブ			○					
		シマアシブトハナアブ		○						
		オオハナアブ	○	○		○	○			
		キンアリスアブ	○							
		ハナアブ科の一種	○	○	○		○	○		
	ミバエ	タンポポハマダラミバエ	○							
	ヤチバエ	ヤチバエ科の一種	○	○		○				
	ツヤホソバエ	ヒトテンツヤホソバエ		○	○		○	○		
	イエバエ	マルボシハナバエ			○					
	クロバエ	ツマグロキンバエ	○	○	○					
	ヤドリバエ	コガネオオハリバエ	○	○						
		ヤドリバエ科の一種			○					
トビケラ	ヒゲナガカワトビケラ	ヒゲナガカワトビケラ				○	○	○		
チョウ	ハマキガ	チャハマキ		○						
	スカシバガ	フドウスカシバ		○						
	ハマキモドキガ	コウゾハマキモドキ		○						
	マダラガ	シロシタホタルガ	○	○						
	セミヤドリガ	セミヤドリガ	○							
	イラガ	ナシイラガ		○						
		クロシタアオイラガ					○			
		アカイラガ					○			
	マドガ	マドガ		○		○				
	メイガ	タイワンウスキノメイガ					○			
		コブノメイガ				○	○			
		トガリキノメイガ		○						
		マエキノメイガ		○						
		シロオビノメイガ	○	○				○		

目名	科名	和名	調査地点						注目種	
			1	2	3	4	5	6	栃木県RL	環境省RL
ﾁｮｳ	ﾒｲｶﾞ	ﾏﾒﾉﾒｲｶﾞ		○						
		ｱﾜﾉﾒｲｶﾞ	○							
		ﾕｳｸﾞﾓﾉﾒｲｶﾞ						○		
		ﾌｷﾉﾒｲｶﾞ		○				○		
		ﾏｴｱｶｽｶｼﾉﾒｲｶﾞ				○				
		ｸﾛｽｼﾞｷﾝﾉﾒｲｶﾞ					○			
		ｳｺﾝﾉﾒｲｶﾞ		○			○	○		
		ｷﾑｼﾞﾉﾒｲｶﾞ		○						
		ﾀｲﾜﾝﾓﾝｷﾉﾒｲｶﾞ		○						
		ｸﾛﾓﾝｷﾉﾒｲｶﾞ						○		
		ﾂﾏｸﾞﾛｼﾏﾒｲｶﾞ		○						
		ｱｶﾏﾀﾞﾗﾒｲｶﾞ		○		○				
	ｾｾﾘﾁｮｳ	ｱｵﾊﾞｾｾﾘ	○		○					
		ﾀﾞｲﾐｮｳｾｾﾘ				○				
		ﾋﾒｷﾏﾀﾞﾗｾｾﾘ	○			○				
		ｲﾁﾓﾝｼﾞｾｾﾘ	○	○	○	○	○	○		
		ﾁｬﾊﾞﾈｾｾﾘ	○	○	○			○		
		ｵｵﾁｬﾊﾞﾈｾｾﾘ			○				要注目	
		ｺﾁｬﾊﾞﾈｾｾﾘ	○	○	○	○				
	ｱｹﾞﾊﾁｮｳ	ｼﾞｬｺｳｱｹﾞﾊ		○		○			要注目	
		ｶﾗｽｱｹﾞﾊ	○	○	○					
		ｷｱｹﾞﾊ	○				○			
		ｵﾅｶﾞｱｹﾞﾊ			○					
		ｸﾛｱｹﾞﾊ	○	○	○	○	○	○		
		ﾅﾐｱｹﾞﾊ	○		○		○			
		ｳｽﾊﾞｼﾛﾁｮｳ	○	○						
	ｼﾛﾁｮｳ	ﾓﾝｷﾁｮｳ		○		○	○	○		
		ｷﾀｷﾁｮｳ	○	○	○	○	○	○		
		ﾂﾏｸﾞﾛｷﾁｮｳ	○		○	○	○		要注目	絶滅危惧Ⅱ類
		ｽｼﾞｸﾞﾛｼﾛﾁｮｳ	○	○	○			○		
		ﾓﾝｼﾛﾁｮｳ	○	○	○	○	○	○		
	ｼｼﾞﾐﾁｮｳ	ﾙﾘｼｼﾞﾐ	○		○					
		ﾂﾊﾞﾒｼｼﾞﾐ	○	○	○	○	○	○		
		ｳﾗﾅﾐｼｼﾞﾐ					○			
		ﾍﾞﾆｼｼﾞﾐ	○	○		○	○	○		
		ｺﾞｲｼｼｼﾞﾐ	○	○	○		○			
		ﾔﾏﾄｼｼﾞﾐ	○	○	○	○	○	○		
	ｳﾗｷﾞﾝｼｼﾞﾐ	ｳﾗｷﾞﾝｼｼﾞﾐ	○	○	○	○				
	ﾀﾃﾊﾁｮｳ	ｺﾑﾗｻｷ	○							
		ﾐﾄﾞﾘﾋｮｳﾓﾝ	○	○	○					
		ﾂﾏｸﾞﾛﾋｮｳﾓﾝ	○	○						
		ｵｵｳﾗｷﾞﾝｽｼﾞﾋｮｳﾓﾝ	○	○	○					
		ﾋﾒｱｶﾀﾃﾊ		○			○			
		ﾒｽｸﾞﾛﾋｮｳﾓﾝ	○	○	○					
		ｽﾐﾅｶﾞｼ	○							
		ｳﾗｷﾞﾝﾋｮｳﾓﾝ	○	○	○	○				
		ｺﾞﾏﾀﾞﾗﾁｮｳ	○	○		○				
		ﾙﾘﾀﾃﾊ			○					
		ｲﾁﾓﾝｼﾞﾁｮｳ	○	○	○	○	○			
		ｱｻﾏｲﾁﾓﾝｼﾞ	○	○						
		ｸﾓｶﾞﾀﾋｮｳﾓﾝ	○	○	○					
		ﾐｽｼﾞﾁｮｳ		○				○		
		ｺﾐｽｼﾞ	○	○	○	○	○	○		
		ﾋｵﾄﾞｼﾁｮｳ				○				
		ｷﾀﾃﾊ	○	○		○	○	○		
		ｵｵﾑﾗｻｷ	○	○	○	○			要注目	準絶滅危惧
		ｱｶﾀﾃﾊ		○						
	ｼﾞｬﾉﾒﾁｮｳ	ｸﾛﾋｶｹﾞ	○	○	○	○				
		ﾋｶｹﾞﾁｮｳ		○	○	○				
		ｼﾞｬﾉﾒﾁｮｳ	○			○	○			
		ｺｼﾞｬﾉﾒ	○	○	○					

目名	科名	和名	調査地点						注目種	
			1	2	3	4	5	6	栃木県RL	環境省RL
ﾁｮｳ	ｼﾞｬﾉﾒﾁｮｳ	ﾋﾒｼﾞｬﾉﾒ	○	○	○		○			
		ｻﾄｷﾏﾀﾞﾗﾋｶｹﾞ	○	○		○				
		ﾔﾏｷﾏﾀﾞﾗﾋｶｹﾞ	○	○	○	○				
		ｵｵﾋｶｹﾞ	○						要注目	
		ﾋﾒｳﾗﾅﾐｼﾞｬﾉﾒ	○	○	○	○		○		
	ﾄｶﾞﾘﾊﾞｶﾞ	ﾋﾒｳｽﾍﾞﾆﾄｶﾞﾘﾊﾞ						○		
	ｼｬｸｶﾞ	ｶｷﾞｼﾛｽｼﾞｱｵｼｬｸ		○						
		ﾊｲｲﾛﾋﾒｼｬｸ				○				
		ﾏｴｷﾋﾒｼｬｸ		○	○					
		ｷﾅﾐｼﾛﾋﾒｼｬｸ			○					
		ｷﾏﾀﾞﾗｵｵﾅﾐｼｬｸ		○						
		ﾖﾓｷﾞｴﾀﾞｼｬｸ		○						
		ｳｽﾊﾞﾐｽｼﾞｴﾀﾞｼｬｸ		○	○					
		ﾊﾐｽｼﾞｴﾀﾞｼｬｸ		○						
		ｵｵｼﾛｴﾀﾞｼｬｸ		○						
		ｺﾅﾌｷｴﾀﾞｼｬｸ		○						
		ﾌﾀﾔﾏｴﾀﾞｼｬｸ		○						
		ﾐｽｼﾞﾂﾏｷﾘｴﾀﾞｼｬｸ		○						
	ｱｹﾞﾊﾓﾄﾞｷｶﾞ	ｷﾝﾓﾝｶﾞ	○		○		○			
	ﾔﾏﾏﾕｶﾞ	ｸｽｻﾝ					○			
	ｽｽﾞﾒｶﾞ	ﾋﾒｸﾛﾎｳｼﾞｬｸ			○					
		ﾎｼﾎｳｼﾞｬｸ			○					
	ｼｬﾁﾎｺｶﾞ	ﾎｿﾊﾞｼｬﾁﾎｺ		○						
	ﾄﾞｸｶﾞ	ﾄﾞｸｶﾞ					○			
	ﾋﾄﾘｶﾞ	ｷｼﾀﾎｿﾊﾞ		○	○			○		
		ｽｼﾞﾍﾞﾆｺｹｶﾞ		○						
		ｼﾛﾋﾄﾘ				○				
	ﾔｶﾞ	ｵｵﾀﾊﾞｺｶﾞ				○				
		ﾂﾒｸｻｶﾞ				○				
		ｺｳｽﾁｬﾔｶﾞ						○		
		ｴｿﾞｳｽｲﾛﾖﾄｳ		○						
		ｽｼﾞｷﾘﾖﾄｳ		○						
		ﾌﾀｵﾋﾞｺﾔｶﾞ		○						
		ﾌｸﾗｽｽﾞﾒ						○		
		ｼﾛｼﾀﾊﾞ	○							
		ｳﾝﾓﾝｸﾁﾊﾞ	○							
		ｵｵｳﾝﾓﾝｸﾁﾊﾞ		○						
		ﾊｸﾞﾙﾏﾄﾓｴ			○					
		ｵｽｸﾞﾛﾄﾓｴ		○	○					
		ｱﾔﾅﾐｱﾂﾊﾞ				○				
		ｵｵｼﾗﾅﾐｱﾂﾊﾞ			○					
		ｳｽｸﾞﾛｱﾂﾊﾞ			○					
		ﾂﾏﾃﾝｺﾌﾞﾋｹﾞｱﾂﾊﾞ					○			
	ﾄﾗｶﾞ	ﾋﾒﾄﾗｶﾞ			○					
26	166	654	308	321	282	192	151	132		